

大崎市
在宅介護実態調査
報告書

令和3年1月
大崎市

目次

第1章 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の構成	3
3. 回収結果	3
4. 報告書の見方	3
第2章 調査結果の要約	7
第3章 在宅介護実態調査結果の分析	13
1 調査対象者について	13
(1) 調査票記入者	13
(2) 性別	13
(3) 年齢	14
(4) 居住地域（日常生活圏域）	15
(5) 家族構成	16
(6) 介護の頻度	17
(7) 主な介護者	18
(8) 主な介護者の性別	19
(9) 主な介護者の年齢	20
(10) 主な介護者が行っている介護の内容	21
(11) 介護者の過去1年間の離職状況	23
(12) 利用している介護保険以外の支援・サービス	25
(13) 在宅生活継続のために必要と感じる支援・サービス	27
(14) 入所・入居の検討状況	29
(15) 現病歴	31
(16) 訪問診療の利用の有無	33
(17) 介護保険サービスの利用の有無	34
(18) 介護保険サービスを利用していない理由	35
2 主な介護者について	37
(1) 介護者の勤務形態	37
(2) 介護にあたって、働き方の調整等の状況	39
(3) 仕事と介護の両立のため、介護者勤務先からの効果がある支援	41
(4) 働きながらの介護継続について	43
(5) 介護者が不安に感じる介護等	45
資料編	49
1. 在宅介護実態調査 調査票	49

第 1 章 調查概要

第1章 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、令和3年度からの「第8期大崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の構成

調査対象	大崎市在住の65歳以上の方で、要支援・要介護認定を受け、施設等に入所していない方
抽出方法	令和2年8月1日現在の住民基本台帳、要介護認定者情報より、層化二段無作為抽出を行った。
調査方法	郵送配付、郵送回収
調査期間	令和2年8月4日から令和2年8月24日まで ※令和2年9月4日までの回収分を有効とした
企画実施	大崎市民生部高齢介護課
集計・分析	株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

3. 回収結果

	対象者数	回収数	有効回収数	有効回収率
在宅介護実態調査	1,200人	577人	557人	46.4%

4. 報告書の見方

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値又はLn値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 本文中で、比率の比較をする際には、ポイント(小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位で示しています。)と表記しています。
- グラフに併記されている()内の数値は、平成29年度に実施した前回調査の結果を比較のため参考掲載したものです。なお、今回調査の設問文・選択肢等が同一でない場合があります。
- クロス集計の表側項目については、原則として「無回答」を除いています。また、「その他」や「該当不明」、回答者数が少なく統計上有意でないと判断した項目等は適宜除外しています。
- クロス集計結果についてのコメントは、回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目については省略しています。
- クロス集計結果についての色付は、全体の割合より5%以上高い場合を薄いグレー、全体の割合より5%以上低い場合を濃いグレーとしています。

第2章 調査結果の要約

第2章 調査結果の要約

生活支援サービスや介護サービスの充実

- 回答者の約9割は後期高齢者で、高齢者のみ世帯は約3割。毎日介護が必要な人は約5割と、前回調査より増加している。
- 主な介護者の約9割は子や子の配偶者、配偶者で、主な介護者のうち約7割は女性。年齢は60歳以上が約7割と、前回調査より70歳以上が増加している。
- 行っている介護内容は、掃除、洗濯、買い物等の家事、食事の準備、金銭管理・諸手続きが7～8割。
- 過去1年間の介護者の離職状況で、主な介護者が離職・転職したケースは1割程度。
- 介護保険以外の支援・サービスで利用しているものは、移送サービス（介護・福祉タクシー等）（11.1%）、外出同行（通院、買い物等）（10.1%）、ゴミ出し（7.7%）で、1割前後。前回調査より、「外出動向（通院、買い物）」が多くなっているほか、全体的に利用が増加している。
- 在宅生活継続のために必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（23.2%）、「外出同行（通院、買い物等）」（18.0%）、「見守り、声かけ」（14.7%）で、2割前後。

今後はさらに少子高齢化が進行し、高齢者のみ世帯や要介護認定者等、支援を必要とする人はさらに増加し、より生活支援サービスや介護サービスの需要が高まることが見込まれるため、必要時に、身体の状態に適したサービスを受けることができるサービス提供の体制強化が必要となっている。

施設サービスの充実

- 入居入所の検討状況は、検討している人は18.5%、すでに申し込みをしている人は16.0%で、要介護等認定者の3割程度は入所希望者である。

単身世帯や核家族が増加している中、施設入所の需要も今後はさらに高まることが予想されることから、軽費老人ホーム（ケアハウス）やサービス付き高齢者住宅等の介護保険外の高齢者向け施設も視野に入れ、受入れの対応をしていくことが必要となっている。

医療と介護の連携

- 現病歴は、その他（高血圧症や高脂血症等）（41.8%）、認知症（30.2%）、筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）（24.1%）が多く、何らかの疾病を持っている人は約9割。訪問診療を利用している人は1割程度と、前回調査よりやや増加している。

要介護等認定者が在宅生活を続けるためには、疾病や要介護度の重度化防止施策のほか、在宅医療と介護の連携が重要で、地域の包括的支援体制の強化が必要となっている。

地域包括支援センター等の相談体制の整備

- 介護保険サービスを利用していない人は約5割と、前回調査より増加している。利用していない理由として、現状では利用するほどの状態ではないや本人に利用希望がない、家族が介護をするため必要ないなど、現段階で希望がない人が多いものの、利用料の支払いが難しい人や手続き・利用方法がわからない人が約2割いる。

わかりやすい介護保険制度やサービス情報の内容や多様な入手手段等の情報提供の整備と、地域包括支援センター等の相談支援体制の充実が必要となっている。

介護者の離職防止等も含めた、就労環境の整備

- 過去1年間の介護者の離職状況は、仕事を辞めた（転職除く）人が10.7%、転職した人が2.6%と、主な介護者が離職・転職したケースは1割程度と、前回調査よりやや増加している。
- 介護者の勤務形態は、フルタイムが18.7%、パートタイムが17.9%と、働いている人は3割半ば。働いている人のうち、働き方の調整等をしている人は約7割と、前回調査よりやや増加している。
- 仕事と介護の両立のため勤務先から効果がある支援としては、介護休業・休暇等の制度充実（32.9%）や経済的支援（28.0%）、制度が利用しやすい職場づくり（25.2%）、労働時間の柔軟な選択（20.3%）が多く、働きながらの介護を続けていける人は74.8%。一方で、続けていくのが難しい人は約1割と、前回調査より減少している。

就労している介護者が、離職せずに無理なく介護が継続できるよう、関係機関との連携体制と離職防止のための支援の強化が必要となっている。

高齢者の就労は、生きがいや社会貢献のひとつであるため、関係部署と連携し、企業・事業所への職場環境の改善や理解促進のための啓発を図る必要がある。

認知症施策の強化

- 要介護等認定者の現病歴は、認知症（30.2%）が2番目に多い。
- 介護者が不安に感じる介護等は、認知症状への対応（30.4%）が最も多い。

認知症高齢者やその家族が地域で安心して暮らしていくためには、地域における認知症への理解促進や認知症状の進行を遅らせるための予防事業など、多職種協働による認知症施策の強化を図る必要がある。

第3章 在宅介護実態調査 結果の分析

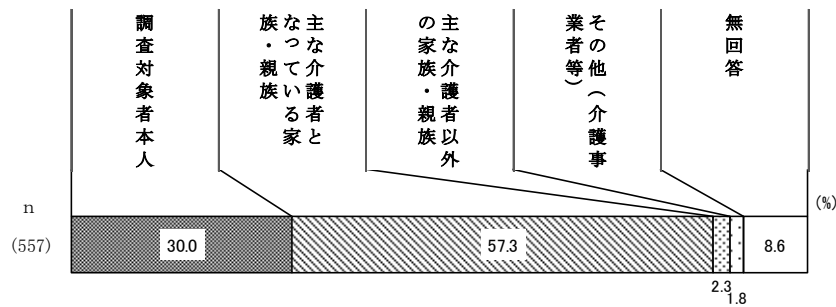
第3章 在宅介護実態調査結果の分析

1 調査対象者について

(1) 調査票記入者

この調査に記入されたのは、どなたですか

【図表1 記入者】

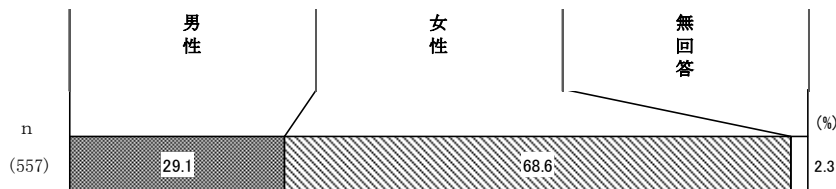


記入者は、「主な介護者となつてゐる家族・親族」が57.3%と最も多くなつてゐる。

(2) 性別

F1. 宛名のご本人様の性別

【図表2 性別】

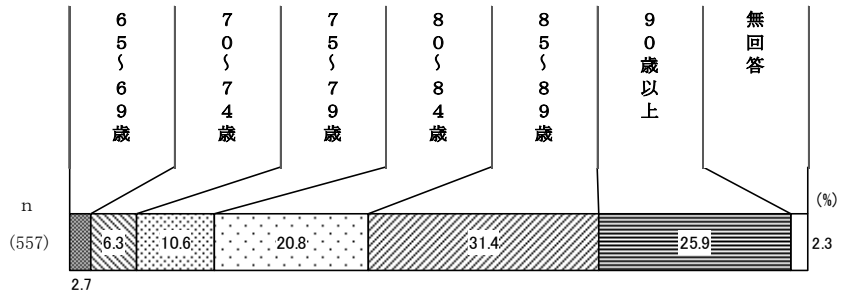


性別は、「男性」が29.1%、「女性」が68.6%と、「女性」が多くなつてゐる。

(3) 年齢

F2. 宛名のご本人様の年齢（令和2年8月1日現在）

【図表3 年齢】

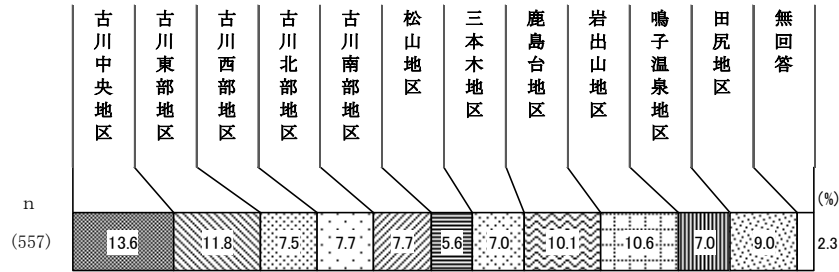


年齢は、「85～89歳」が31.4%と最も多く、以下、「90歳以上」(25.9%)、「80～84歳」(20.8%)、「75～79歳」(10.6%)、「70～74歳」(6.3%)、「65～69歳」(2.7%)となっており、65～74歳の前期高齢者は9.0%、75歳以上の後期高齢者が88.7%を占めている。

(4) 居住地域（日常生活圏域）

F3. 宛名のご本人様のお住まいの圏域

【図表4 居住地域（日常生活圏域）】



居住地域(日常生活圏域)は、「古川中央地区」が13.6%と最も多く、以下、「古川東部地区」(11.8%)、「岩出山地区」(10.6%)、「鹿島台地区」(10.1%)、「田尻地区」(9.0%)、「古川北部地区」、「古川南部地区」(ともに7.7%)、「古川西部地区」(7.5%)、「三本木地区」、「鳴子温泉地区」(ともに7.0%)、「松山地区」(5.6%)となっている。

【図表5 居住地域（日常生活圏域）/性別、要介護度別】

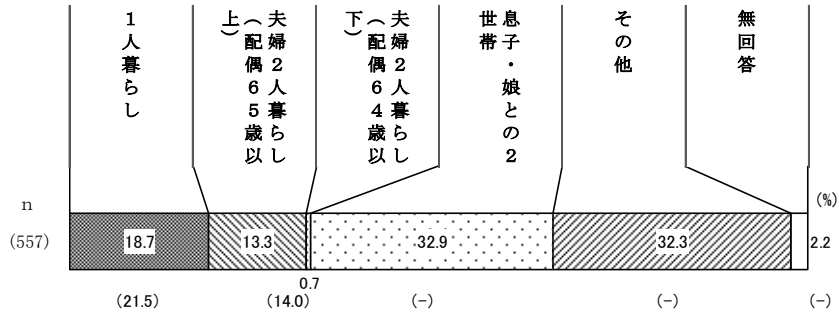
		調査数	古川中央地区	古川東部地区	古川西部地区	古川北部地区	古川南部地区	松山地区	三本木地区	鹿島台地区	岩出山地区	鳴子温泉地区	田尻地区	無回答
上段：件数 下段：%														
全体		557 100.0	76 13.6	66 11.8	42 7.5	43 7.7	43 7.7	31 5.6	39 7.0	56 10.1	59 10.6	39 7.0	50 9.0	13 2.3
性別	男性	162 100.0	20 12.3	27 16.7	13 8.0	13 8.0	13 8.0	13 8.0	10 6.2	16 9.9	18 11.1	10 6.2	9 5.6	0 0.0
	女性	382 100.0	56 14.7	39 10.2	29 7.6	30 7.9	30 7.9	18 4.7	29 7.6	40 10.5	41 10.7	29 7.6	41 10.7	0 0.0
（3区 介護度別）	要支援1・2	159 100.0	18 11.3	17 10.7	13 8.2	11 6.9	11 6.9	13 8.2	8 5.0	19 11.9	14 8.8	16 10.1	19 11.9	0 0.0
	要介護1・2	242 100.0	38 15.7	34 14.0	20 8.3	16 6.6	19 7.9	8 3.3	20 8.3	20 8.3	32 13.2	14 5.8	21 8.7	0 0.0
	要介護3～5	143 100.0	20 14.0	15 10.5	9 6.3	16 11.2	13 9.1	10 7.0	11 7.7	17 11.9	13 9.1	9 6.3	10 7.0	0 0.0

性別、年齢別では、大きな違いはみられない。

(5) 家族構成

問1 家族構成をお教えてください

【図表6 家族構成】



家族構成は、「息子・娘との2世帯」が32.9%と最も多く、以下、「1人暮らし」(18.7%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(13.3%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(0.7%)となっている。

前回調査との大きな違いはみられないが、「1人暮らし」がやや少なくなっている。

【図表6 家族構成/性別、要介護度別、圏域別】

上段：件数 下段：%		調査数	1人暮らし	上(夫婦2人暮らし 65歳以上)	下(夫婦2人暮らし 64歳以上)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	
全体		557	104	74	4	183	180	12	
		100.0	18.7	13.3	0.7	32.9	32.3	2.2	
性別	男性	162	26	50	2	39	44	1	
	女性	382	75	23	2	140	131	11	
		100.0	19.6	6.0	0.5	36.6	34.3	2.9	
要介護度別 (3区分分)	要支援1・2	159	56	19	1	45	31	7	
	要介護1・2	242	35	33	2	91	77	4	
	要介護3～5	143	10	21	1	43	67	1	
		100.0	7.0	14.7	0.7	30.1	46.9	0.7	
圏域別	古川中央地区	76	20	13	0	21	22	0	
	古川東部地区	66	12	11	2	26	13	2	
	古川西部地区	42	7	6	0	13	13	3	
	古川北部地区	43	3	5	0	15	20	0	
	古川南部地区	43	11	8	0	12	11	1	
	松山地区	31	6	6	0	9	10	0	
	三本木地区	39	2	4	1	14	18	0	
	鹿島台地区	56	11	6	1	22	16	0	
	岩出山地区	59	13	3	0	18	23	2	
	鳴子温泉地区	39	10	3	0	17	8	1	
	田尻地区	50	6	8	0	12	21	3	
			100.0	12.0	16.0	0.0	24.0	42.0	6.0

性別でみると、男性は女性に比べて「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が多い。

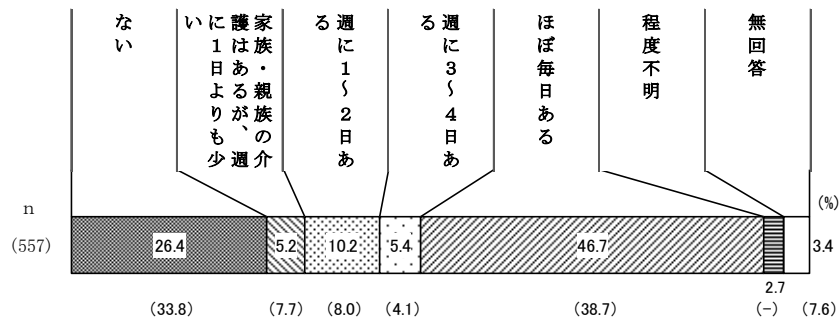
要介護度別でみると、要支援1・2は「1人暮らし」が、要介護1・2は「息子・娘との2世帯」が他の要介護度に比べて多い。

圏域別でみると、古川中央地区、古川南部地区「1人暮らし」が、古川東部地区、鹿島台地区は「息子・娘との2世帯」が、鳴子温泉地区は「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」が他の圏域に比べて多い。

(6) 介護の頻度

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

【図表7 介護の頻度】



介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が46.7%と最も多く、以下、「週に1~2日ある」(10.2%)、「週に3~4日ある」(5.4%) などとなっている。一方、「ない」は26.4%となっている。前回調査に比べ、「ほぼ毎日ある」が多くなっている。

【図表6 介護の頻度/性別、要介護度別、圏域別】

	調査数	ない	週に1日以下	週に1~2日	週に3~4日	ほぼ毎日ある	程度不明	無回答	上段：件数
									下段：%
全体	557	147	29	57	30	260	15	19	
	100.0	26.4	5.2	10.2	5.4	46.7	2.7	3.4	
性別	男性	162	47	7	14	8	79	4	3
	100.0	29.0	4.3	8.6	4.9	48.8	2.5	1.9	
女性	382	97	21	42	21	174	11	16	
	100.0	25.4	5.5	11.0	5.5	45.5	2.9	4.2	
要介護度別	要支援1・2	159	72	9	25	3	29	7	14
	100.0	45.3	5.7	15.7	1.9	18.2	4.4	8.8	
	要介護1・2	242	47	14	25	15	130	7	4
100.0	19.4	5.8	10.3	6.2	53.7	2.9	1.7		
要介護3~5	143	25	5	6	11	94	1	1	
100.0	17.5	3.5	4.2	7.7	65.7	0.7	0.7		
圏域別	古川中央地区	76	15	6	10	1	40	2	2
	100.0	19.7	7.9	13.2	1.3	52.6	2.6	2.6	
	古川東部地区	66	19	2	3	7	34	1	0
	100.0	28.8	3.0	4.5	10.6	51.5	1.5	0.0	
	古川西部地区	42	8	1	3	1	25	2	2
	100.0	19.0	2.4	7.1	2.4	59.5	4.8	4.8	
	古川北部地区	43	11	4	1	4	21	2	0
	100.0	25.6	9.3	2.3	9.3	48.8	4.7	0.0	
	古川南部地区	43	10	4	2	1	24	0	2
	100.0	23.3	9.3	4.7	2.3	55.8	0.0	4.7	
	松山地区	31	11	2	6	1	8	2	1
	100.0	35.5	6.5	19.4	3.2	25.8	6.5	3.2	
	三本木地区	39	12	0	3	2	20	1	1
100.0	30.8	0.0	7.7	5.1	51.3	2.6	2.6		
鹿島台地区	56	19	1	3	7	25	0	1	
100.0	33.9	1.8	5.4	12.5	44.6	0.0	1.8		
岩出山地区	59	14	3	13	0	24	1	4	
100.0	23.7	5.1	22.0	0.0	40.7	1.7	6.8		
鳴子温泉地区	39	13	3	3	1	16	1	2	
100.0	33.3	7.7	7.7	2.6	41.0	2.6	5.1		
田尻地区	50	12	2	9	4	16	3	4	
100.0	24.0	4.0	18.0	8.0	32.0	6.0	8.0		

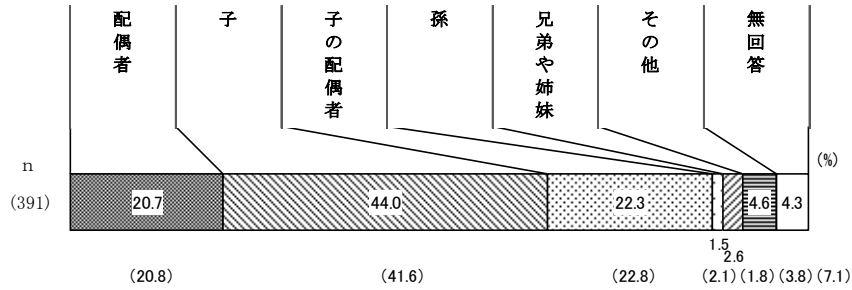
要介護度別でみると、要支援1・2は「ない」が、要介護1・2と要介護3~5は「ほぼ毎日ある」が他の要介護度に比べて多い。

圏域別でみると、古川中央地区、古川東部地区、古川西部地区、古川南部地区は「ほぼ毎日ある」が、岩出山地区、田尻地区は「週に1~2日ある」が、鹿島台地区、鳴子温泉地区は「ない」が、松山地区は「週に1~2日ある」、「ない」が他の圏域に比べて多い。

(7) 主な介護者

問3 主な介護者様は、どなたですか

【図表8 主な介護者】



主な介護者は、「子」が44.0%と最も多く、以下、「子の配偶者」(22.3%)、「配偶者」(20.7%)などとなっている。

前回調査との大きな違いはみられないが、「子」がやや多くなっている。

【図表9 主な介護者/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟や姉妹	その他	無回答
上段：件数 下段：%									
全体		391	81	172	87	6	10	18	17
		100.0	20.7	44.0	22.3	1.5	2.6	4.6	4.3
性別	男性	112	51	36	16	1	4	1	3
		100.0	45.5	32.1	14.3	0.9	3.6	0.9	2.7
女性		269	28	132	67	5	6	17	14
		100.0	10.4	49.1	24.9	1.9	2.2	6.3	5.2
要介護度別 (3区分)	要支援1・2	73	8	34	11	1	3	5	11
		100.0	11.0	46.6	15.1	1.4	4.1	6.8	15.1
	要介護1・2	191	34	85	55	2	4	6	5
	100.0	17.8	44.5	28.8	1.0	2.1	3.1	2.6	
	要介護3～5	117	37	49	17	3	3	7	1
	100.0	31.6	41.9	14.5	2.6	2.6	6.0	0.9	
圏域別	古川中央地区	59	14	27	8	0	2	5	3
		100.0	23.7	45.8	13.6	0.0	3.4	8.5	5.1
	古川東部地区	47	12	20	9	0	1	2	3
		100.0	25.5	42.6	19.1	0.0	2.1	4.3	6.4
	古川西部地区	32	6	16	10	0	0	0	0
		100.0	18.8	50.0	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	古川北部地区	32	7	13	9	0	0	2	1
		100.0	21.9	40.6	28.1	0.0	0.0	6.3	3.1
	古川南部地区	31	11	16	3	1	0	0	0
		100.0	35.5	51.6	9.7	3.2	0.0	0.0	0.0
	松山地区	19	5	11	1	0	1	0	1
		100.0	26.3	57.9	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3
	三本木地区	26	5	9	10	0	0	1	1
	100.0	19.2	34.6	38.5	0.0	0.0	3.8	3.8	
鹿島台地区	36	7	12	12	1	2	1	1	
	100.0	19.4	33.3	33.3	2.8	5.6	2.8	2.8	
岩出山地区	41	3	22	7	2	2	3	2	
	100.0	7.3	53.7	17.1	4.9	4.9	7.3	4.9	
鳴子温泉地区	24	4	11	5	0	1	2	1	
	100.0	16.7	45.8	20.8	0.0	4.2	8.3	4.2	
田尻地区	34	5	11	9	2	1	2	4	
	100.0	14.7	32.4	26.5	5.9	2.9	5.9	11.8	

性別で見ると、男性は女性に比べて「配偶者」の介護者が多く、女性は男性に比べて「子」、「子の配偶者」の介護者が多い。

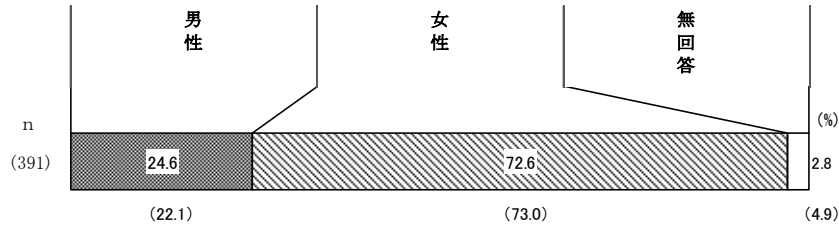
要介護度別で見ると、要介護1・2は「子の配偶者」が、要介護3～5は「配偶者」の介護者が他の要介護度に比べて多い。

圏域別で見ると、古川南部地区は「配偶者」、「子」が、古川西部地区、松山地区、岩出山地区は「子」が、三本木地区、鹿島台地区は「子の配偶者」の介護者が他の圏域に比べて多い。

(8) 主な介護者の性別

問4 主な介護者様の性別について、ご回答ください

【図表10 主な介護者の性別】



主な介護者の性別は、「男性」が24.6%、「女性」が72.6%となっている。前回調査との大きな違いはみられないが、「男性」がやや多くなっている。

【図表11 主な介護者の性別/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	男性	女性	無回答
上段：件数 下段：%					
全 体		391 100.0	96 24.6	284 72.6	11 2.8
性別	男性	112 100.0	16 14.3	96 85.7	0 0.0
	女性	269 100.0	79 29.4	179 66.5	11 4.1
(3区 介護度別)	要支援1・2	73 100.0	16 21.9	49 67.1	8 11.0
	要介護1・2	191 100.0	46 24.1	143 74.9	2 1.0
	要介護3～5	117 100.0	33 28.2	83 70.9	1 0.9
圏域別	古川中央地区	59 100.0	21 35.6	36 61.0	2 3.4
	古川東部地区	47 100.0	10 21.3	36 76.6	1 2.1
	古川西部地区	32 100.0	10 31.3	22 68.8	0 0.0
	古川北部地区	32 100.0	5 15.6	26 81.3	1 3.1
	古川南部地区	31 100.0	8 25.8	22 71.0	1 3.2
	松山地区	19 100.0	7 36.8	12 63.2	0 0.0
	三本木地区	26 100.0	4 15.4	22 84.6	0 0.0
	鹿島台地区	36 100.0	8 22.2	27 75.0	1 2.8
	岩出山地区	41 100.0	11 26.8	29 70.7	1 2.4
	鳴子温泉地区	24 100.0	5 20.8	18 75.0	1 4.2
	田尻地区	34 100.0	6 17.6	25 73.5	3 8.8

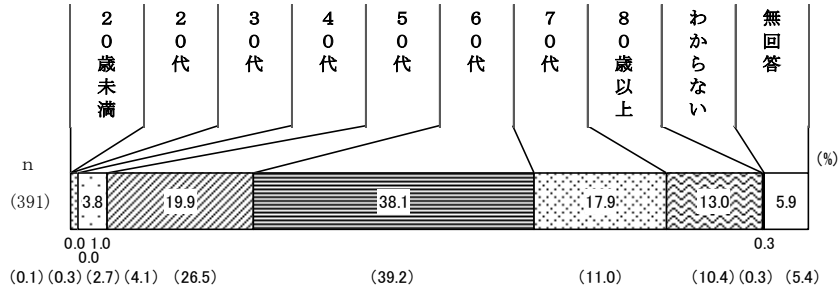
性別で見ると、男性は女性に比べて「女性」の介護者が多い。

圏域別で見ると、古川中央地区、古川西部地区、松山地区は「男性」の介護者が、古川北部地区、三本木地区は「女性」の介護者が他の圏域に比べて多い。

(9) 主な介護者の年齢

問5 主な介護者様の年齢について、ご回答ください

【図表12 主な介護者の年齢】



主な介護者の年齢は、「60代」が38.1%と最も多く、以下、「50代」(19.9%)、「70代」(17.9%)、「80歳以上」(13.0%)などと、60歳以上が69.0%を占める。

前回調査に比べ、「70代」が多くなっている。一方で「50代」が少なくなっている。

【図表13 主な介護者の年齢/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答	
全体		391	0	0	4	15	78	149	70	51	1	23	
		100.0	0.0	0.0	1.0	3.8	19.9	38.1	17.9	13.0	0.3	5.9	
性別	男性	112	0	0	0	3	16	33	32	21	0	7	
	女性	269	0	0	4	11	59	112	38	28	1	16	
		100.0	0.0	0.0	1.5	4.1	21.9	41.6	14.1	10.4	0.4	5.9	
(3区 介護度別)	要支援1・2	73	0	0	2	2	23	24	8	8	0	6	
	要介護1・2	191	0	0	0	9	33	84	33	23	0	9	
	要介護3～5	117	0	0	2	3	19	37	29	18	1	8	
		100.0	0.0	0.0	1.7	2.6	16.2	31.6	24.8	15.4	0.9	6.8	
圏域別	古川中央地区	59	0	0	1	3	14	18	14	9	0	0	
	古川東部地区	47	0	0	0	2	6	18	12	5	1	3	
	古川西部地区	32	0	0	0	1	8	12	7	2	0	2	
	古川北部地区	32	0	0	0	0	10	14	5	2	0	1	
	古川南部地区	31	0	0	1	0	8	8	5	6	0	3	
	松山地区	19	0	0	0	3	3	5	2	4	0	2	
	三本木地区	26	0	0	0	0	1	13	5	6	0	1	
	鹿島台地区	36	0	0	1	1	9	12	6	4	0	3	
	岩出山地区	41	0	0	1	2	7	17	6	4	0	4	
	鳴子温泉地区	24	0	0	0	0	3	14	3	3	0	1	
	田尻地区	34	0	0	0	2	6	14	5	4	0	3	
			100.0	0.0	0.0	0.0	5.9	17.6	41.2	14.7	11.8	0.0	8.8

性別でみると、男性は女性に比べて「70代」、「80歳以上」の介護者が多い。

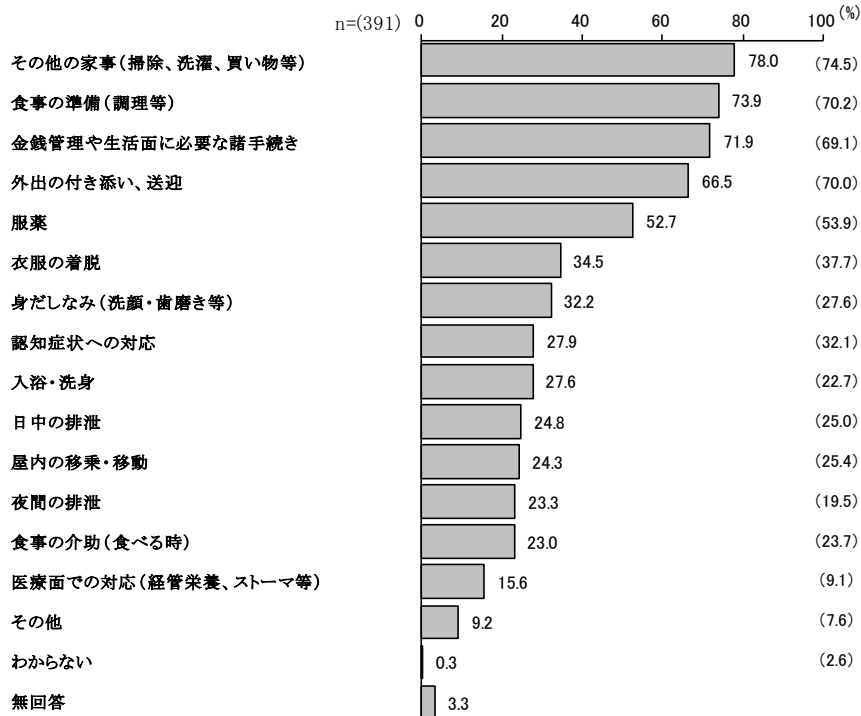
要介護度別でみると、要支援1・2は「50代」が、要介護1・2は「60代」が、要介護3～5は「70代」の介護者が他の要介護度に比べて多い。

圏域別でみると、古川中央地区、古川東部地区は「70代」が、古川北部地区は「50代」、「60代」が、古川南部地区、松山地区は「80歳以上」が、三本木地区は「60代」、「80歳以上」が、鳴子温泉地区は「60代」の介護者が他の圏域に比べて多い。

(10) 主な介護者が行っている介護の内容

問6 現在、主な介護者様が行っている介護等について、ご回答ください

【図表14 主な介護者が行っている介護の内容】



主な介護者が行っている介護の内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が78.0%と最も多く、以下、「食事の準備（調理等）」(73.9%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(71.9%)、「外出の付き添い、送迎等」(66.5%)、「服薬」(52.7%)、「衣服の着脱」(34.5%)、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」(32.2%)、「認知症状への対応」(27.9%) などとなっている。

前回調査と比べ、順位に大きな違いはみられないが、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が多くなっている。

【図表15 主な介護者が行っている介護の内容/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	洗濯、 その他の家事 (掃除、 買い物等)	食事の 準備 (調理等)	要 金 銭 管 理 や 生 活 面 に 必 要 な 諸 手 続 き	外 出 の 付 き 添 い 、 送 迎	服 薬	衣 服 の 着 脱	磨 身 だ し な み (洗 顔 ・ 歯 磨 き 等)	認 知 症 状 へ の 対 応	入 浴 ・ 洗 身	日 中 の 排 泄	屋 内 の 移 乗 ・ 移 動	夜 間 の 排 泄	時 食 事 の 介 助 (食 べ る 時)	医 療 面 で の 対 応 (経 管 栄 養 、 ス ト ー マ 等)	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
上段：件数 下段：%																				
全 体		391 100.0	305 78.0	289 73.9	281 71.9	260 66.5	206 52.7	135 34.5	126 32.2	109 27.9	108 27.6	97 24.8	95 24.3	91 23.3	90 23.0	61 15.6	36 9.2	1 0.3	13 3.3	
性別	男性	112 100.0	89 79.5	86 76.8	84 75.0	69 61.6	67 59.8	45 40.2	43 38.4	28 25.0	28 25.0	32 28.6	25 22.3	32 28.6	32 28.6	23 20.5	11 9.8	1 0.9	3 2.7	
	女性	269 100.0	208 77.3	195 72.5	189 70.3	183 68.0	133 49.4	87 32.3	78 29.0	78 29.0	76 28.3	62 23.0	67 24.9	55 20.4	57 21.2	37 13.8	23 8.6	0 0.0	10 3.7	
要介護度別 (3区分)	要支援1・2	73 100.0	39 53.4	32 43.8	25 34.2	48 65.8	7 9.6	2 2.7	2 2.7	6 8.2	10 13.7	0 0.0	1 1.4	2 2.7	4 5.5	2 2.7	4 5.5	0 0.0	7 9.6	
	要介護1・2	191 100.0	154 80.6	146 76.4	146 76.4	133 69.6	114 59.7	52 27.2	45 23.6	58 30.4	51 26.7	22 11.5	38 19.9	17 8.9	34 17.8	28 14.7	18 9.4	1 0.5	6 3.1	
	要介護3～5	117 100.0	104 88.9	103 88.0	102 87.2	71 60.7	79 67.5	78 66.7	74 63.2	42 35.9	43 36.8	72 61.5	53 45.3	68 58.1	51 43.6	30 25.6	12 10.3	0 0.0	0 0.0	
圏域別	古川中央地区	59 100.0	50 84.7	43 72.9	43 72.9	43 72.9	33 55.9	18 30.5	16 27.1	14 23.7	19 32.2	15 25.4	18 30.5	17 28.8	13 22.0	11 18.6	8 13.6	0 0.0	1 1.7	
	古川東部地区	47 100.0	40 85.1	37 78.7	33 70.2	30 63.8	26 55.3	20 42.6	16 34.0	13 27.7	17 36.2	14 29.8	13 27.7	11 23.4	10 21.3	11 23.4	6 12.8	0 0.0	1 2.1	
	古川西部地区	32 100.0	28 87.5	28 87.5	28 87.5	20 62.5	17 53.1	11 34.4	9 28.1	7 21.9	10 31.3	6 18.8	7 21.9	7 21.9	7 21.9	7 21.9	2 6.3	1 3.1	0 0.0	
	古川北部地区	32 100.0	24 75.0	24 75.0	20 62.5	20 62.5	15 46.9	11 34.4	11 34.4	8 25.0	8 25.0	8 25.0	8 25.0	5 15.6	8 25.0	5 15.6	4 12.5	0 0.0	1 3.1	
	古川南部地区	31 100.0	25 80.6	23 74.2	24 77.4	17 54.8	18 58.1	11 35.5	11 35.5	6 19.4	9 29.0	8 25.8	11 35.5	10 32.3	10 32.3	7 22.6	4 12.9	0 0.0	1 3.2	
	松山地区	19 100.0	9 47.4	11 57.9	10 52.6	10 52.6	5 26.3	6 31.6	6 31.6	7 36.8	1 5.3	4 21.1	3 15.8	2 10.5	2 10.5	1 5.3	1 5.3	0 0.0	1 5.3	
	三本木地区	26 100.0	20 76.9	18 69.2	19 73.1	17 65.4	14 53.8	13 50.0	8 30.8	7 26.9	9 34.6	9 34.6	5 19.2	8 30.8	6 23.1	6 23.1	3 11.5	0 0.0	1 3.8	
	鹿島台地区	36 100.0	30 83.3	29 80.6	28 77.8	27 75.0	21 58.3	16 44.4	14 38.9	14 38.9	9 25.0	11 30.6	12 33.3	10 27.8	8 22.2	3 8.3	2 5.6	0 0.0	1 2.8	
	岩出山地区	41 100.0	34 82.9	31 75.6	32 78.0	24 58.5	21 51.2	13 31.7	11 26.8	12 29.3	12 29.3	9 22.0	5 12.2	7 17.1	10 24.4	2 4.9	1 2.4	0 0.0	4 9.8	
	鳴子温泉地区	24 100.0	17 70.8	15 62.5	16 66.7	20 83.3	14 58.3	6 25.0	9 37.5	6 25.0	5 20.8	6 25.0	5 20.8	5 20.8	9 37.5	3 12.5	1 4.2	0 0.0	1 4.2	
	田尻地区	34 100.0	20 58.8	22 64.7	20 58.8	24 70.6	16 47.1	7 20.6	10 29.4	12 35.3	5 14.7	4 11.8	5 14.7	5 14.7	7 20.6	4 11.8	2 5.9	0 0.0	1 2.9	

性別で見ると、男性は女性に比べて「服薬」、「衣服の着脱」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が多い。

要介護度別で見ると、要支援1・2は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「外出の付き添い、送迎等」が、それに加えて要介護1・2は「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「服薬」が多くなっている。要介護3～5は「外出の付き添い、送迎等」以外の項目で他の要介護度に比べて多い。

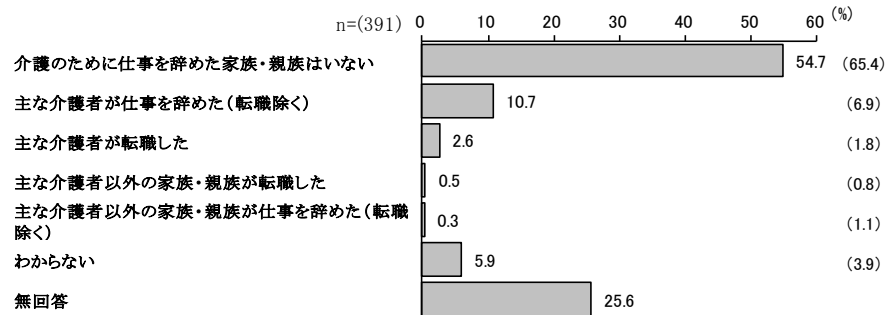
圏域別で見ると、古川西部地区、古川南部地区、鹿島台地区、岩出山地区は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、古川中央地区、鹿島台地区、鳴子温泉地区は「外出の付き添い、送迎等」が他の圏域に比べて多い。

なお、古川南部地区、鹿島台地区については、その他の項目も他の圏域に比べて多い傾向となっている。

(11) 介護者の過去1年間の離職状況

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人様（調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか
（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

【図表16 介護者の過去1年間の離職状況】



介護者の過去1年間の離職状況は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が54.7%と最も多くなっているが、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が10.7%、「主な介護者が転職した」が2.6%と、主な介護者が離職・転職したケースは1割以上存在する。

前回調査に比べ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が少なくなっており、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」がやや多くなっている。

【図表17 介護者の過去1年間の離職状況/性別、要介護度別、圏域別】

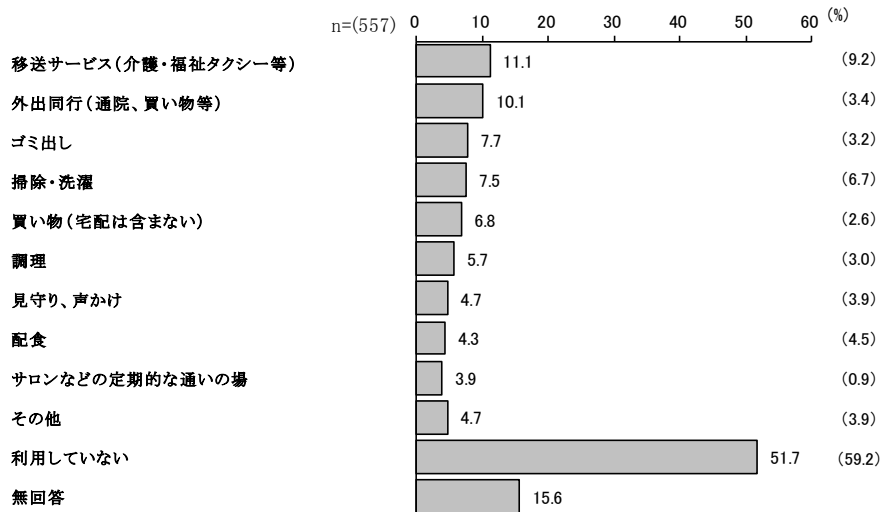
		調査数	た介護の 家族のため に仕事は ない 辞め	た主な 介護者 が仕事 を辞め (転職 除く)	主な 介護者 が転職 した	親主な 家族が 転職し た以外 の家族	職親 除族 くが 仕事 を辞 めた (転	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族	わ か ら な い	無 回 答
		上段：件数 下段：%								
全 体		391 100.0	214 54.7	42 10.7	10 2.6	2 0.5	1 0.3	23 5.9	100 25.6	
性 別	男性	112 100.0	62 55.4	14 12.5	4 3.6	2 1.8	0 0.0	6 5.4	25 22.3	
	女性	269 100.0	149 55.4	27 10.0	6 2.2	0 0.0	1 0.4	15 5.6	71 26.4	
(要 介 護 度 別 3 区 分)	要支援1・2	73 100.0	38 52.1	7 9.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 4.1	25 34.2	
	要介護1・2	191 100.0	108 56.5	23 12.0	7 3.7	2 1.0	0 0.0	15 7.9	37 19.4	
	要介護3～5	117 100.0	65 55.6	11 9.4	3 2.6	0 0.0	1 0.9	3 2.6	34 29.1	
圏 域 別	古川中央地区	59 100.0	34 57.6	4 6.8	1 1.7	0 0.0	0 0.0	2 3.4	18 30.5	
	古川東部地区	47 100.0	24 51.1	5 10.6	4 8.5	1 2.1	1 2.1	3 6.4	10 21.3	
	古川西部地区	32 100.0	15 46.9	5 15.6	1 3.1	0 0.0	0 0.0	1 3.1	10 31.3	
	古川北部地区	32 100.0	24 75.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	6 18.8	
	古川南部地区	31 100.0	17 54.8	4 12.9	1 3.2	0 0.0	0 0.0	1 3.2	8 25.8	
	松山地区	19 100.0	8 42.1	3 15.8	1 5.3	0 0.0	0 0.0	2 10.5	5 26.3	
	三本木地区	26 100.0	14 53.8	3 11.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	8 30.8	
	鹿島台地区	36 100.0	19 52.8	6 16.7	1 2.8	0 0.0	0 0.0	2 5.6	8 22.2	
	岩出山地区	41 100.0	24 58.5	2 4.9	0 0.0	1 2.4	0 0.0	3 7.3	11 26.8	
	鳴子温泉地区	24 100.0	14 58.3	4 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3	4 16.7	
	田尻地区	34 100.0	18 52.9	4 11.8	1 2.9	0 0.0	0 0.0	3 8.8	8 23.5	

圏域別で見ると、古川東部地区は「主な介護者が転職した」が、松山地区、鹿島台地区、鳴子温泉地区は「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が、古川北部地区は「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が他の圏域に比べて多い。

(12) 利用している介護保険以外の支援・サービス

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも）

【図表18 利用している介護保険以外の支援・サービス】



利用している介護保険以外の支援・サービスは、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が11.1%と最も多く、以下、「外出同行(通院、買い物等)」(10.1%)、「ゴミ出し」(7.7%)、「掃除・洗濯」(7.5%)、「調理」(5.7%)などとなっている。

一方で、約半数が「利用していない」(51.7%)となっている。

前回調査に比べ、「利用していない」が少なくなっている。「外出動向(通院、買い物)」が多くなっているほか、全体的に利用が増えている。

【図表19 利用している介護保険以外の支援・サービス/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	外出同行（通院、買い物等）	ゴミ出し	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	調理	見守り、声かけ	配食	サロンなどの定期的な通い	その他	利用していない	無回答	
		上段：件数 下段：%													
全体		557 100.0	62 11.1	56 10.1	43 7.7	42 7.5	38 6.8	32 5.7	26 4.7	24 4.3	22 3.9	26 4.7	288 51.7	87 15.6	
性別	男性	162 100.0	22 13.6	21 13.0	14 8.6	13 8.0	11 6.8	12 7.4	3 1.9	8 4.9	5 3.1	6 3.7	82 50.6	19 11.7	
	女性	382 100.0	35 9.2	33 8.6	29 7.6	29 7.6	27 7.1	20 5.2	21 5.5	16 4.2	16 4.2	20 5.2	200 52.4	66 17.3	
要介護度別 (3区分)	要支援1・2	159 100.0	13 8.2	17 10.7	17 10.7	16 10.1	14 8.8	9 5.7	9 5.7	5 3.1	3 1.9	2 1.3	73 45.9	32 20.1	
	要介護1・2	242 100.0	14 5.8	26 10.7	16 6.6	17 7.0	15 6.2	15 6.2	9 3.7	10 4.1	10 4.1	11 4.5	148 61.2	29 12.0	
	要介護3～5	143 100.0	30 21.0	11 7.7	10 7.0	9 6.3	9 6.3	8 5.6	6 4.2	9 6.3	8 5.6	13 9.1	61 42.7	24 16.8	
圏域別	古川中央地区	76 100.0	7 9.2	9 11.8	4 5.3	7 9.2	3 3.9	6 7.9	5 6.6	4 5.3	6 7.9	6 7.9	30 39.5	15 19.7	
	古川東部地区	66 100.0	11 16.7	11 16.7	5 7.6	7 10.6	4 6.1	6 9.1	3 4.5	7 10.6	1 1.5	3 4.5	34 51.5	5 7.6	
	古川西部地区	42 100.0	2 4.8	2 4.8	3 7.1	3 7.1	1 2.4	1 2.4	2 4.8	1 2.4	1 2.4	0 0.0	27 64.3	8 19.0	
	古川北部地区	43 100.0	4 9.3	3 7.0	1 2.3	3 7.0	1 2.3	2 4.7	1 2.3	1 2.3	2 4.7	2 4.7	27 62.8	6 14.0	
	古川南部地区	43 100.0	5 11.6	6 14.0	6 14.0	4 9.3	6 14.0	2 4.7	1 2.3	2 4.7	2 4.7	3 7.0	16 37.2	8 18.6	
	松山地区	31 100.0	3 9.7	3 9.7	2 6.5	1 3.2	3 9.7	1 3.2	3 9.7	1 3.2	1 3.2	1 3.2	4 12.9	14 45.2	5 16.1
	三本木地区	39 100.0	5 12.8	3 7.7	4 10.3	3 7.7	2 5.1	3 7.7	2 5.1	1 2.6	0 0.0	2 5.1	19 48.7	8 20.5	
	鹿島台地区	56 100.0	3 5.4	4 7.1	4 7.1	4 7.1	3 5.4	4 7.1	2 3.6	2 3.6	3 5.4	1 1.8	35 62.5	10 17.9	
	岩出山地区	59 100.0	10 16.9	7 11.9	8 13.6	7 11.9	6 10.2	2 3.4	3 5.1	1 1.7	3 5.1	0 0.0	31 52.5	6 10.2	
	鳴子温泉地区	39 100.0	4 10.3	2 5.1	2 5.1	2 5.1	2 5.1	1 2.6	2 5.1	3 7.7	0 0.0	2 5.1	23 59.0	5 12.8	
	田尻地区	50 100.0	3 6.0	4 8.0	4 8.0	1 2.0	7 14.0	2 4.0	2 4.0	1 2.0	0 0.0	3 6.0	26 52.0	9 18.0	

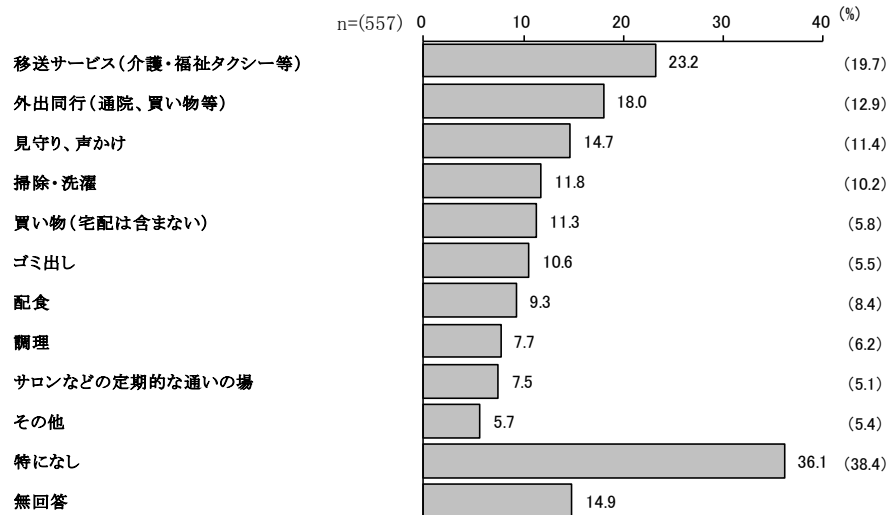
要介護度別でみると、要介護1・2は「利用していない」が、要介護3～5は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が他の要介護度に比べて多い。

圏域別でみると、古川西部地区、古川北部地区、鹿島台地区、鳴子温泉地区は「利用していない」が、古川東部地区は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「外出同行（通院、買い物等）」が、岩出山地区は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が他の圏域に比べて多い。

(13) 在宅生活継続のために必要と感じる支援・サービス

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

【図表20 在宅生活継続のために必要と感じる支援・サービス】



在宅生活の継続のために必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.2%と最も多く、以下、「外出同行（通院、買い物等）」（18.0%）、「見守り、声かけ」（14.7%）、「掃除・洗濯」（11.8%）、「買い物（宅配は含まない）」（11.3%）、「ゴミ出し」（10.6%）などとなっている。

前回調査と比べ、順位に大きな違いはないが、「外出動向（通院、買い物等）」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」が多くなっているほか、全体的に増加している。

【図表21 在宅生活継続のために必要と感じる支援・サービス/性別、要介護度別、圏域別】

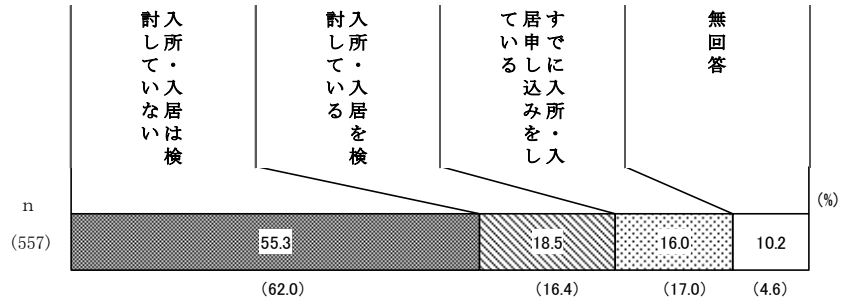
		調査数	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	外出同行（通院、買い物等）	見守り、声かけ	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	配食	調理	サロンなどの定期的な通い	その他	特になし	無回答	
		上段：件数 下段：%													
全体		557 100.0	129 23.2	100 18.0	82 14.7	66 11.8	63 11.3	59 10.6	52 9.3	43 7.7	42 7.5	32 5.7	201 36.1	83 14.9	
性別	男性	162 100.0	37 22.8	30 18.5	17 10.5	22 13.6	21 13.0	21 13.0	15 9.3	15 9.3	10 6.2	12 7.4	60 37.0	25 15.4	
	女性	382 100.0	88 23.0	68 17.8	63 16.5	43 11.3	41 10.7	38 9.9	36 9.4	28 7.3	31 8.1	20 5.2	137 35.9	55 14.4	
要介護度別（3区分）	要支援1・2	159 100.0	32 20.1	36 22.6	22 13.8	28 17.6	25 15.7	29 18.2	17 10.7	16 10.1	10 6.3	1 0.6	48 30.2	33 20.8	
	要介護1・2	242 100.0	57 23.6	44 18.2	45 18.6	23 9.5	27 11.2	21 8.7	22 9.1	17 7.0	23 9.5	20 8.3	96 39.7	20 8.3	
	要介護3～5	143 100.0	36 25.2	18 12.6	13 9.1	14 9.8	10 7.0	9 6.3	12 8.4	10 7.0	8 5.6	11 7.7	53 37.1	27 18.9	
圏域別	古川中央地区	76 100.0	16 21.1	18 23.7	12 15.8	7 9.2	3 3.9	8 10.5	7 9.2	3 3.9	7 9.2	6 7.9	23 30.3	13 17.1	
	古川東部地区	66 100.0	18 27.3	14 21.2	10 15.2	11 16.7	11 16.7	8 12.1	8 12.1	8 12.1	7 10.6	6 9.1	24 36.4	9 13.6	
	古川西部地区	42 100.0	11 26.2	8 19.0	6 14.3	6 14.3	3 7.1	5 11.9	4 9.5	3 7.1	3 7.1	3 7.1	16 38.1	5 11.9	
	古川北部地区	43 100.0	6 14.0	7 16.3	9 20.9	5 11.6	4 9.3	2 4.7	5 11.6	3 7.0	6 14.0	4 9.3	20 46.5	3 7.0	
	古川南部地区	43 100.0	8 18.6	6 14.0	2 4.7	6 14.0	6 14.0	4 9.3	4 9.3	4 9.3	4 9.3	1 2.3	4 9.3	15 34.9	8 18.6
	松山地区	31 100.0	4 12.9	2 6.5	2 6.5	4 12.9	4 12.9	4 12.9	3 9.7	2 6.5	2 6.5	1 3.2	2 6.5	10 32.3	8 25.8
	三本木地区	39 100.0	8 20.5	6 15.4	4 10.3	6 15.4	6 15.4	6 15.4	2 5.1	5 12.8	5 12.8	1 2.6	2 5.1	14 35.9	6 15.4
	鹿島台地区	56 100.0	13 23.2	11 19.6	6 10.7	6 10.7	5 8.9	5 8.9	3 5.4	4 7.1	4 7.1	5 8.9	1 1.8	25 44.6	8 14.3
	岩出山地区	59 100.0	21 35.6	14 23.7	18 30.5	8 13.6	11 18.6	10 16.9	9 15.3	7 11.9	7 11.9	8 13.6	3 5.1	14 23.7	8 13.6
	鳴子温泉地区	39 100.0	8 20.5	4 10.3	3 7.7	1 2.6	4 10.3	2 5.1	4 10.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	21 53.8	5 12.8
	田尻地区	50 100.0	12 24.0	8 16.0	8 16.0	8 16.0	5 10.0	5 10.0	5 10.0	4 8.0	4 8.0	2 4.0	2 4.0	15 30.0	7 14.0

要介護度別でみると、要支援1・2は「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」が他の要介護度に比べて多い。
 圏域別でみると、古川中央地区は「外出同行（通院、買い物等）」が、古川北部地区は「見守り、声かけ」が他の圏域に比べて多い。岩出山地区については、いずれの項目も他の圏域に比べて多い傾向となっている。

(14) 入所・入居の検討状況

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

【図表22 入所・入居の検討状況】



入居入所の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が55.3%と最も多い。

一方、「入所・入居を検討している」は18.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は16.0%となっている。

前回調査に比べ、「入所・入居は検討していない」が少なくなっている。

【図表23 入所・入居の検討状況/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	検討していない 入居は検討	検討している 入居を検討	すでに申し込みを入 所・入居を し入	無回答
上段：件数 下段：%						
全体		557 100.0	308 55.3	103 18.5	89 16.0	57 10.2
性別	男性	162 100.0	100 61.7	27 16.7	25 15.4	10 6.2
	女性	382 100.0	202 52.9	71 18.6	63 16.5	46 12.0
(要介護度別)	要支援1・2	159 100.0	103 64.8	21 13.2	3 1.9	32 20.1
	要介護1・2	242 100.0	138 57.0	52 21.5	35 14.5	17 7.0
	要介護3～5	143 100.0	61 42.7	25 17.5	50 35.0	7 4.9
圏域別	古川中央地区	76 100.0	38 50.0	17 22.4	12 15.8	9 11.8
	古川東部地区	66 100.0	40 60.6	14 21.2	7 10.6	5 7.6
	古川西部地区	42 100.0	20 47.6	6 14.3	9 21.4	7 16.7
	古川北部地区	43 100.0	30 69.8	4 9.3	9 20.9	0 0.0
	古川南部地区	43 100.0	27 62.8	5 11.6	9 20.9	2 4.7
	松山地区	31 100.0	18 58.1	4 12.9	4 12.9	5 16.1
	三本木地区	39 100.0	21 53.8	4 10.3	10 25.6	4 10.3
	鹿島台地区	56 100.0	30 53.6	11 19.6	9 16.1	6 10.7
	岩出山地区	59 100.0	29 49.2	17 28.8	7 11.9	6 10.2
	鳴子温泉地区	39 100.0	22 56.4	7 17.9	6 15.4	4 10.3
	田尻地区	50 100.0	27 54.0	9 18.0	6 12.0	8 16.0

性別で見ると、男性は女性に比べて「入所・入居は検討していない」が多い。

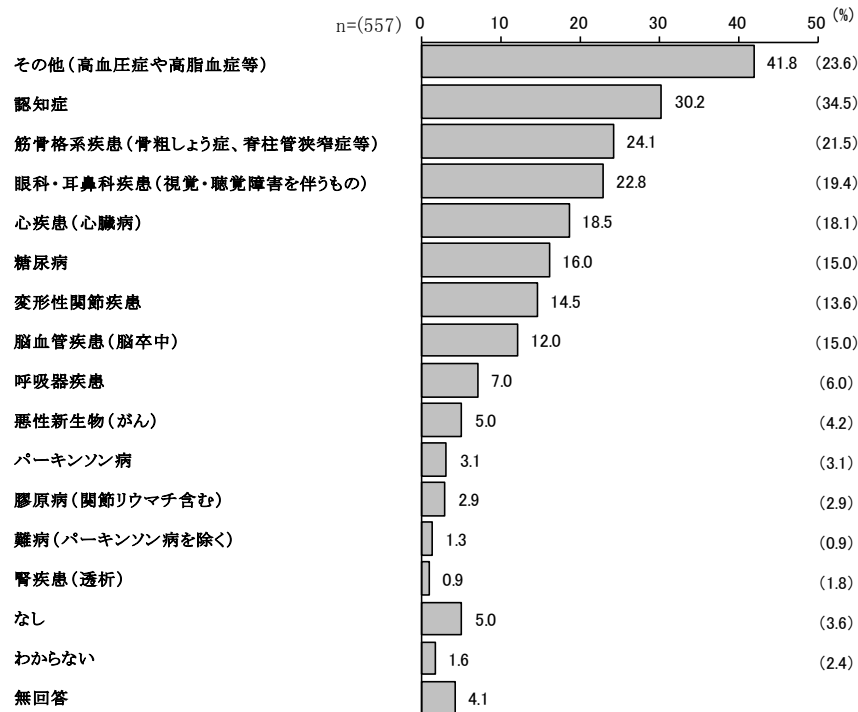
要介護度別で見ると、要支援1・2は「入所・入居は検討していない」が、要介護3～5は「すでに入所・入居申し込みをしている」が他の要介護度に比べて多い。

圏域別で見ると、古川東部地区、古川北部地区、古川南部地区は「入所・入居は検討していない」が、古川西部地区、三本木地区は「すでに入所・入居申し込みをしている」が、岩出山地区は「入所・入居を検討している」が他の圏域に比べて多い。

(15) 現病歴

問11 ご本人様（調査対象者様）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）

【図表24 現病歴】



現病歴は、「その他（高血圧症や高脂血症等）」が41.8%と最も多く、以下、「認知症」（30.2%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（24.1%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（22.8%）、「心疾患（心臓病）」（18.5%）、「糖尿病」（16.0%）、「変形性関節疾患」（14.5%）などとなっている。

前回調査に比べ、「その他（高血圧症や高脂血症等）」を除くと、大きな違いはみられない。

【図表25 現病歴/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	その他（高血圧症や高脂血症等）	認知症	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	心疾患（心臓病）	糖尿病	変形性関節疾患	脳血管疾患（脳卒中）	呼吸器疾患	悪性新生物（がん）	パーキンソン病	膠原病（関節リウマチ含む）	難病（パーキンソン病を除く）	腎疾患（透析）	なし	わからない	無回答	
		上段：件数 下段：%																		
全体		557 100.0	233 41.8	168 30.2	134 24.1	127 22.8	103 18.5	89 16.0	81 14.5	67 12.0	39 7.0	28 5.0	17 3.1	16 2.9	7 1.3	5 0.9	28 5.0	9 1.6	23 4.1	
性別	男性	162 100.0	64 39.5	46 28.4	24 14.8	33 20.4	38 23.5	27 16.7	8 4.9	33 20.4	23 14.2	13 8.0	5 3.1	4 2.5	3 1.9	3 1.9	9 5.6	5 3.1	5 3.1	
	女性	382 100.0	163 42.7	118 30.9	108 28.3	91 23.8	65 17.0	60 15.7	72 18.8	32 8.4	15 3.9	15 3.9	12 3.1	12 3.1	4 1.0	2 0.5	2 5.0	19 1.0	4 1.0	17 4.5
（3区分別） 要介護度別	要支援1・2	159 100.0	73 45.9	6 3.8	57 35.8	47 29.6	33 20.8	26 16.4	36 22.6	7 4.4	5 3.1	6 3.8	0 0.0	5 3.1	0 0.0	1 0.6	9 5.7	2 1.3	9 5.7	
	要介護1・2	242 100.0	105 43.4	94 38.8	46 19.0	60 24.8	37 15.3	34 14.0	30 12.4	31 12.8	19 7.9	13 5.4	8 3.3	6 2.5	3 1.2	2 0.8	16 6.6	5 2.1	6 2.5	
	要介護3～5	143 100.0	49 34.3	64 44.8	29 20.3	17 11.9	33 23.1	27 18.9	14 9.8	27 18.9	14 9.8	9 6.3	9 6.3	5 3.5	4 2.8	2 1.4	3 2.1	2 1.4	7 4.9	
圏域別	古川中央地区	76 100.0	37 48.7	21 27.6	24 31.6	14 18.4	17 22.4	12 15.8	11 14.5	12 15.8	6 7.9	3 3.9	4 5.3	3 3.9	1 1.3	1 1.3	4 5.3	0 0.0	0 0.0	
	古川東部地区	66 100.0	35 53.0	15 22.7	14 21.2	23 34.8	12 18.2	14 21.2	9 13.6	11 16.7	7 10.6	2 3.0	2 3.0	1 1.5	1 1.5	1 1.5	1 1.5	0 0.0	3 4.5	
	古川西部地区	42 100.0	15 35.7	12 28.6	7 16.7	11 26.2	6 14.3	8 19.0	8 19.0	8 19.0	3 7.1	3 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.1	2 4.8	2 4.8	
	古川北部地区	43 100.0	18 41.9	17 39.5	6 14.0	10 23.3	9 20.9	7 16.3	3 7.0	3 7.0	4 9.3	3 7.0	0 0.0	0 0.0	2 4.7	0 0.0	4 9.3	3 7.0	0 0.0	
	古川南部地区	43 100.0	14 32.6	10 23.3	17 39.5	8 18.6	6 14.0	4 9.3	9 20.9	2 4.7	1 2.3	2 4.7	6 14.0	4 9.3	2 4.7	1 2.3	0 0.0	3 7.0	0 0.0	2 4.7
	松山地区	31 100.0	9 29.0	8 25.8	5 16.1	5 16.1	2 6.5	6 19.4	3 9.7	3 9.7	4 12.9	2 6.5	2 6.5	0 0.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	3 9.7	0 0.0	2 6.5
	三本木地区	39 100.0	15 38.5	14 35.9	11 28.2	5 12.8	5 12.8	5 12.8	5 12.8	4 10.3	4 10.3	3 7.7	2 5.1	2 5.1	1 2.6	1 2.6	2 5.1	0 0.0	2 5.1	2 5.1
	鹿島台地区	56 100.0	25 44.6	18 32.1	10 17.9	12 21.4	12 21.4	10 17.9	7 12.5	7 12.5	3 5.4	3 5.4	1 1.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	8 14.3	5 8.9	1 1.8	4 7.1
	岩出山地区	59 100.0	27 45.8	22 37.3	15 25.4	17 28.8	16 27.1	7 11.9	10 16.9	4 6.8	4 6.8	5 8.5	1 1.7	3 5.1	0 0.0	0 0.0	3 5.1	2 3.4	1 1.7	2 3.4
	鳴子温泉地区	39 100.0	15 38.5	14 35.9	8 20.5	8 20.5	7 17.9	6 15.4	5 12.8	3 7.7	3 7.7	0 0.0	1 2.6	2 5.1	0 0.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	2 5.1	2 5.1
	田尻地区	50 100.0	17 34.0	13 26.0	15 30.0	11 22.0	11 22.0	8 16.0	10 20.0	7 14.0	7 14.0	1 2.0	2 4.0	0 0.0	3 6.0	1 2.0	2 4.0	1 2.0	1 2.0	3 6.0

性別で見ると、男性は女性に比べて「脳血管疾患（脳卒中）」、「呼吸器疾患」が多い。女性は男性に比べて「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「変形性関節疾患」が多い。

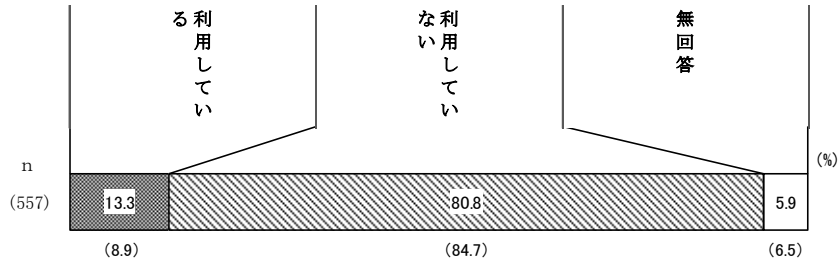
要介護度別で見ると、要支援1・2は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「眼科・耳鼻科疾患（視・聴覚障害を伴うもの）」、「変形性関節疾患」が、要介護1・2と要介護3～5は「認知症」が他の要介護度に比べて多い。

圏域別で見ると、古川中央地区、古川東部地区は「その他（高血圧症や高脂血症等）」が、古川東部地区は加えて「眼科・耳鼻科疾患（視・聴覚障害を伴うもの）」も他の圏域に比べて多い。古川北部地区、三本木地区、岩出山地区、鳴子温泉地区は「認知症」が、古川南部地区は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が他の圏域に比べて多い。

(16) 訪問診療の利用の有無

問12 ご本人様（調査対象者様）は、現在、訪問診療を利用していますか

【図表26 訪問診療の利用の有無】



訪問診療の利用は、「利用している」が13.3%、「利用していない」は80.8%となっている。前回調査と大きな違いはみられないが、「利用している」がやや多くなっている。

【図表27 訪問診療の利用の有無/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	利用している	利用していない	無回答
		上段：件数 下段：%			
全体		557 100.0	74 13.3	450 80.8	33 5.9
性別	男性	162 100.0	30 18.5	124 76.5	8 4.9
	女性	382 100.0	43 11.3	314 82.2	25 6.5
要介護度別 (3区分分)	要支援1・2	159 100.0	10 6.3	138 86.8	11 6.9
	要介護1・2	242 100.0	22 9.1	210 86.8	10 4.1
	要介護3～5	143 100.0	41 28.7	90 62.9	12 8.4
圏域別	古川中央地区	76 100.0	11 14.5	63 82.9	2 2.6
	古川東部地区	66 100.0	12 18.2	48 72.7	6 9.1
	古川西部地区	42 100.0	4 9.5	36 85.7	2 4.8
	古川北部地区	43 100.0	6 14.0	37 86.0	0 0.0
	古川南部地区	43 100.0	7 16.3	30 69.8	6 14.0
	松山地区	31 100.0	5 16.1	24 77.4	2 6.5
	三本木地区	39 100.0	9 23.1	26 66.7	4 10.3
	鹿島台地区	56 100.0	5 8.9	49 87.5	2 3.6
	岩出山地区	59 100.0	5 8.5	50 84.7	4 6.8
	鳴子温泉地区	39 100.0	3 7.7	33 84.6	3 7.7
	田尻地区	50 100.0	6 12.0	42 84.0	2 4.0

性別で見ると、男性は女性に比べて「利用している」が多い。

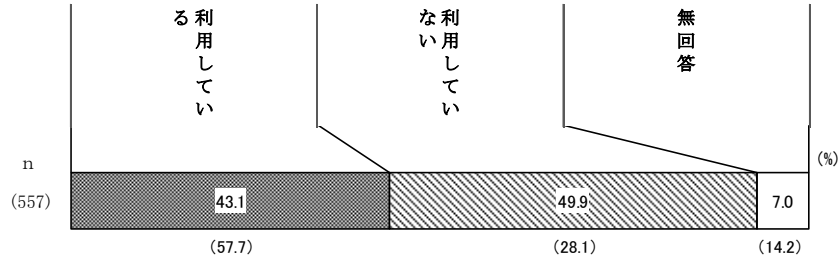
要介護度別で見ると、要支援1・2と要介護1・2は「利用していない」が、要介護3～5は「利用している」が他の要介護度に比べて多い。

圏域別で見ると、古川北部地区、鹿島台地区は「利用していない」が、三本木地区は「利用している」が他の圏域に比べて多い。

(17) 介護保険サービスの利用の有無

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか

【図表28 介護保険サービスの利用の有無】



介護保険サービスの利用は、「利用している」が43.1%、「利用していない」は49.9%となっている。

前回調査より、「利用していない」が多くなっている。

【図表29 介護保険サービスの利用の有無/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	利用している	利用していない	無回答
		上段: 件数 下段: %			
全体		557 100.0	240 43.1	278 49.9	39 7.0
性別	男性	162 100.0	75 46.3	78 48.1	9 5.6
	女性	382 100.0	158 41.4	194 50.8	30 7.9
(3区 介護度別)	要支援1・2	159 100.0	56 35.2	91 57.2	12 7.5
	要介護1・2	242 100.0	102 42.1	126 52.1	14 5.8
	要介護3～5	143 100.0	75 52.4	55 38.5	13 9.1
圏域別	古川中央地区	76 100.0	39 51.3	34 44.7	3 3.9
	古川東部地区	66 100.0	31 47.0	28 42.4	7 10.6
	古川西部地区	42 100.0	15 35.7	21 50.0	6 14.3
	古川北部地区	43 100.0	21 48.8	21 48.8	1 2.3
	古川南部地区	43 100.0	14 32.6	24 55.8	5 11.6
	松山地区	31 100.0	10 32.3	20 64.5	1 3.2
	三本木地区	39 100.0	17 43.6	17 43.6	5 12.8
	鹿島台地区	56 100.0	19 33.9	34 60.7	3 5.4
	岩出山地区	59 100.0	28 47.5	27 45.8	4 6.8
	鳴子温泉地区	39 100.0	14 35.9	24 61.5	1 2.6
	田尻地区	50 100.0	25 50.0	22 44.0	3 6.0

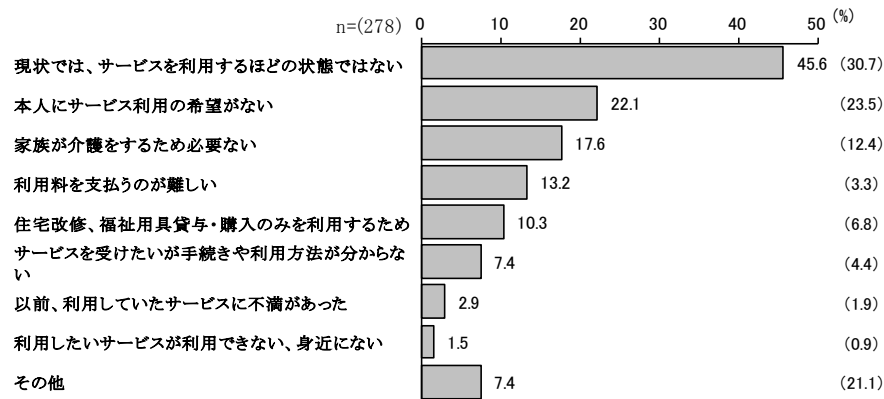
要介護度別で見ると、要支援1・2は「利用していない」が、要介護3～5は「利用している」が他の要介護度に比べて多い。

圏域別で見ると、古川中央地区、古川北部地区、田尻地区は「利用している」が、古川南部地区、松山地区、鹿島台地区、鳴子温泉地区は「利用していない」が他の圏域に比べて多い。

(18) 介護保険サービスを利用していない理由

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

【図表30 介護保険サービスを利用していない理由】



※集計は、無回答を除く

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.6%と最も多く、以下、「本人にサービス利用の希望がない」(22.1%)、「家族が介護をするため必要ない」(17.6%)、「利用料を支払うのが難しい」(13.2%) などとなっている。

前回調査より、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護するため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」が多くなっている。

【図表31 介護保険サービスを利用していない理由/性別、要介護度別、圏域別】

	調査数	は利用していない	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため	利用料を支払うのが難	住宅改修、福祉用具貸与・購入のため	手続きや利用方法が分からぬ	サービスを受けたいが、利用できない	以前、サービスに不満があった	利用できないサービスに身近	その他
全体	68	31	15	12	9	7	5	2	1	5		
	100.0	45.6	22.1	17.6	13.2	10.3	7.4	2.9	1.5	7.4		
性別	男性	21	8	6	3	3	2	2	1	0	2	
	100.0	38.1	28.6	14.3	14.3	9.5	9.5	4.8	0.0	9.5		
性別	女性	45	23	8	8	6	4	3	1	1	3	
	100.0	51.1	17.8	17.8	13.3	8.9	6.7	2.2	2.2	6.7		
(3区別)	要支援1・2	28	17	4	2	5	3	2	1	1	1	
	100.0	60.7	14.3	7.1	17.9	10.7	7.1	3.6	3.6	3.6		
	要介護1・2	28	12	10	6	3	3	2	1	0	1	
(3区別)	100.0	42.9	35.7	21.4	10.7	10.7	7.1	3.6	0.0	3.6		
	要介護3～5	10	2	0	3	1	0	1	0	0	3	
(3区別)	100.0	20.0	0.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0		
	圏域別	古川中央地区	9	5	1	1	3	2	2	0	0	0
100.0		55.6	11.1	11.1	33.3	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0		
古川東部地区		3	2	0	3	0	0	0	0	0	0	
100.0		66.7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
古川西部地区		3	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
100.0		0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
古川北部地区		6	2	1	1	1	0	0	1	0	2	
100.0		33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3		
古川南部地区		6	4	2	1	0	0	0	0	0	0	
100.0		66.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
松山地区		7	3	1	0	1	0	0	0	0	2	
100.0		42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	
三本木地区		4	2	1	0	1	0	0	1	0	0	
100.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0			
鹿島台地区	11	4	4	1	1	2	0	0	0	0		
100.0	36.4	36.4	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0			
岩出山地区	6	4	1	3	0	0	0	0	1	0		
100.0	66.7	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0			
鳴子温泉地区	5	2	1	0	0	1	3	0	0	0		
100.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0			
田尻地区	6	3	1	1	2	0	0	0	0	0		
100.0	50.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

※集計は、無回答を除く

性別で見ると、男性は女性に比べて「本人にサービス利用の希望がない」が、女性は男性に比べて「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が多い。

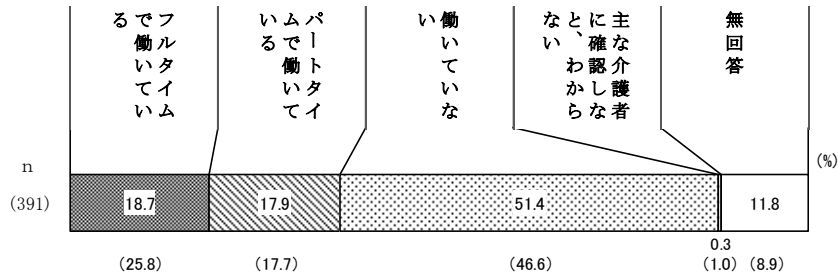
要介護度別で見ると、要支援1・2は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が、要介護1・2は「本人にサービス利用の希望がない」が他の要介護度に比べて多い。

2 主な介護者について

(1) 介護者の勤務形態

問1 主な介護者様の現在の勤務形態について、ご回答ください

【図表32 介護者の勤務形態】



介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が18.7%、「パートタイムで働いている」が17.9%と、『働いている』人は36.6%となっている。

一方、「働いていない」は51.4%と最も多くなっている。

前回調査より、「フルタイムで働いている」が少なくなっており、「働いていない」がやや多くなっている。

【図表33 介護者の勤務形態/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主たる介護者として認められない	無回答
		上段：件数 下段：%					
全体		391 100.0	73 18.7	70 17.9	201 51.4	1 0.3	46 11.8
性別	男性	112 100.0	11 9.8	20 17.9	70 62.5	1 0.9	10 8.9
	女性	269 100.0	62 23.0	49 18.2	125 46.5	0 0.0	33 12.3
(3区 度別)	要支援1・2	73 100.0	16 21.9	10 13.7	29 39.7	0 0.0	18 24.7
	要介護1・2	191 100.0	33 17.3	44 23.0	95 49.7	1 0.5	18 9.4
	要介護3～5	117 100.0	24 20.5	15 12.8	71 60.7	0 0.0	7 6.0
圏域別	古川中央地区	59 100.0	16 27.1	5 8.5	32 54.2	0 0.0	6 10.2
	古川東部地区	47 100.0	6 12.8	14 29.8	20 42.6	0 0.0	7 14.9
	古川西部地区	32 100.0	6 18.8	5 15.6	17 53.1	0 0.0	4 12.5
	古川北部地区	32 100.0	7 21.9	5 15.6	19 59.4	0 0.0	1 3.1
	古川南部地区	31 100.0	3 9.7	6 19.4	19 61.3	0 0.0	3 9.7
	松山地区	19 100.0	5 26.3	1 5.3	9 47.4	0 0.0	4 21.1
	三本木地区	26 100.0	2 7.7	8 30.8	15 57.7	0 0.0	1 3.8
	鹿島台地区	36 100.0	4 11.1	9 25.0	18 50.0	0 0.0	5 13.9
	岩出山地区	41 100.0	8 19.5	9 22.0	17 41.5	1 2.4	6 14.6
	鳴子温泉地区	24 100.0	6 25.0	4 16.7	14 58.3	0 0.0	0 0.0
	田尻地区	34 100.0	10 29.4	3 8.8	15 44.1	0 0.0	6 17.6

性別で見ると、男性は女性に比べて「働いていない」が、女性は男性に比べて「フルタイムで働いている」が多い。

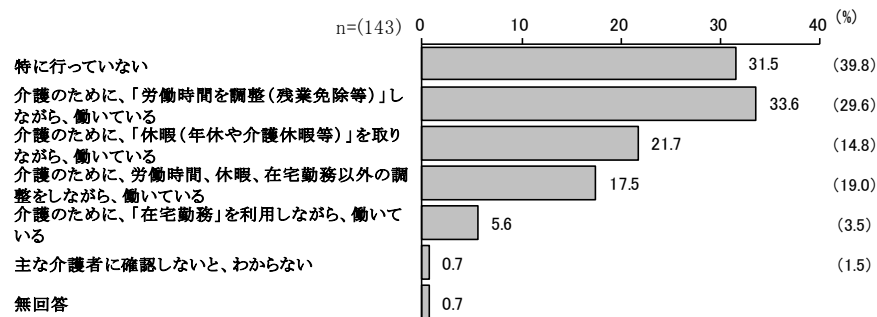
要介護度別で見ると、要介護1・2は「パートタイムで働いている」が、要介護3～5は「働いていない」が他の要介護度に比べて多い。

圏域別で見ると、古川中央地区、松山地区、田尻地区は「フルタイムで働いている」が、古川東部地区は「パートタイムで働いている」が、古川北部地区、古川南部地区、鳴子温泉地区は「働いていない」が、三本木地区は「パートタイムで働いている」、「働いていない」が他の圏域に比べて多い。

(2) 介護にあたって、働き方の調整等の状況

問2 主な介護者様は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（いくつでも）

【図表34 介護にあたって、働き方の調整等の状況】



介護にあたって、働き方の調整等をしているかは、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除等）」しながら、働いている」が33.6%と最も多く、以下、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（21.7%）、「介護のために、労働時間、休暇、在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」（17.5%）などとなっている。

一方、「特に行っていない」は31.5%となっている。

前回調査より、「特に行っていない」が少なくなっている。一方で、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が多くなっているほか、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除等）」をしながら、働いている」がやや多くなっている。

【図表35 介護にあたって、働き方の調整等の状況/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「労働時間を調整しながら、働いている」が、在宅勤務以外の調整をしながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
		上段：件数 下段：%							
全体		143 100.0	45 31.5	48 33.6	31 21.7	25 17.5	8 5.6	1 0.7	1 0.7
性別	男性	31 100.0	6 19.4	13 41.9	7 22.6	8 25.8	1 3.2	0 0.0	0 0.0
	女性	111 100.0	39 35.1	34 30.6	24 21.6	17 15.3	7 6.3	1 0.9	1 0.9
要介護度別 (3区分分)	要支援1・2	26 100.0	12 46.2	3 11.5	5 19.2	6 23.1	1 3.8	0 0.0	0 0.0
	要介護1・2	77 100.0	19 24.7	32 41.6	18 23.4	13 16.9	7 9.1	1 1.3	1 1.3
	要介護3～5	39 100.0	14 35.9	12 30.8	8 20.5	6 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
圏域別	古川中央地区	21 100.0	5 23.8	5 23.8	8 38.1	5 23.8	3 14.3	0 0.0	0 0.0
	古川東部地区	20 100.0	5 25.0	6 30.0	7 35.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0
	古川西部地区	11 100.0	3 27.3	3 27.3	3 27.3	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	古川北部地区	12 100.0	3 25.0	5 41.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
	古川南部地区	9 100.0	5 55.6	3 33.3	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	松山地区	6 100.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	三本木地区	10 100.0	4 40.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	鹿島台地区	13 100.0	4 30.8	7 53.8	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	岩出山地区	17 100.0	6 35.3	5 29.4	4 23.5	3 17.6	1 5.9	0 0.0	0 0.0
	鳴子温泉地区	10 100.0	3 30.0	4 40.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	田尻地区	13 100.0	4 30.8	7 53.8	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

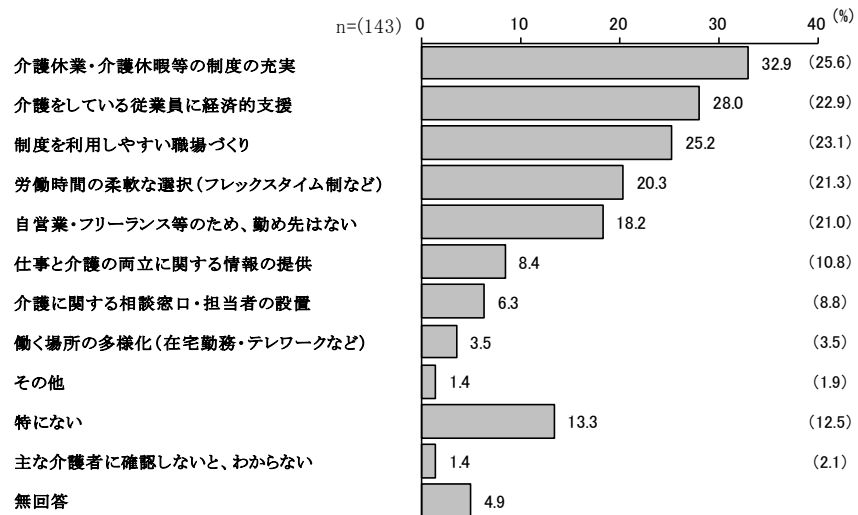
性別で見ると、男性は女性に比べて「介護のために、「労働時間を調整（残業免除等）」しながら、働いている」、「介護のために、労働時間、休暇、在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」が多い。

要介護度別で見ると、要支援1・2は「特に行っていない」が、要介護1・2は「介護のために、「労働時間を調整（残業免除等）」しながら、働いている」が他の要介護度に比べて多い。

(3) 仕事と介護の両立のため、介護者勤務先からの効果がある支援

問3 主な介護者様は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで）

【図表36 仕事と介護の両立のため、介護者勤務先からの効果がある支援】



仕事と介護の両立のため、介護者勤務先からの効果がある支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.9%と最も多く、以下、「介護をしている従業員に経済的支援」(28.0%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(25.2%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(20.3%)、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(18.2%)などとなっている。

前回調査より、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「介護をしている従業員に経済的支援」が多くなっている。

【図表37 仕事と介護の両立のため、介護者勤務先からの効果がある支援/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	介護休業・介護休暇等の制度の充実	介護をしている従業員に経済的支援	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	ため、勤め先はない	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・担当者の設置	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	その他	特になし	主な介護者に確認しない	無回答
全体		143 100.0	47 32.9	40 28.0	36 25.2	29 20.3	26 18.2	26 18.2	12 8.4	9 6.3	5 3.5	2 1.4	19 13.3	2 1.4	7 4.9
性別	男性	31 100.0	11 35.5	8 25.8	4 12.9	2 6.5	4 12.9	4 12.9	1 3.2	2 6.5	0 0.0	1 3.2	7 22.6	0 0.0	4 12.9
	女性	111 100.0	36 32.4	32 28.8	32 28.8	26 23.4	22 19.8	22 19.8	10 9.0	7 6.3	5 4.5	1 0.9	12 10.8	2 1.8	3 2.7
要介護度別 (3区分)	要支援1・2	26 100.0	10 38.5	6 23.1	6 23.1	7 26.9	4 15.4	4 15.4	4 15.4	4 15.4	2 7.7	0 0.0	2 7.7	0 0.0	1 3.8
	要介護1・2	77 100.0	24 31.2	25 32.5	18 23.4	14 18.2	13 16.9	7 9.1	2 2.6	2 2.6	3 3.9	2 2.6	11 14.3	1 1.3	5 6.5
	要介護3～5	39 100.0	13 33.3	9 23.1	12 30.8	7 17.9	9 23.1	0 0.0	3 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 15.4	1 2.6	1 2.6
圏域別	古川中央地区	21 100.0	8 38.1	7 33.3	9 42.9	2 9.5	2 9.5	2 9.5	1 4.8	2 9.5	2 9.5	0 0.0	2 9.5	1 4.8	1 4.8
	古川東部地区	20 100.0	6 30.0	4 20.0	3 15.0	4 20.0	2 10.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0	6 30.0	1 5.0	2 10.0
	古川西部地区	11 100.0	5 45.5	2 18.2	4 36.4	4 36.4	3 27.3	0 0.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	古川北部地区	12 100.0	5 41.7	6 50.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 33.3	0 0.0	0 0.0
	古川南部地区	9 100.0	2 22.2	2 22.2	4 44.4	2 22.2	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1
	松山地区	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7
	三本木地区	10 100.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0
	鹿島台地区	13 100.0	5 38.5	3 23.1	2 15.4	1 7.7	5 38.5	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 53.8	1 7.7	0 0.0
	岩出山地区	17 100.0	7 41.2	7 41.2	3 17.6	4 23.5	4 23.5	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 64.7	0 0.0	1 5.9
	鳴子温泉地区	10 100.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0
	田尻地区	13 100.0	1 7.7	4 30.8	4 30.8	3 23.1	4 30.8	4 30.8	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0

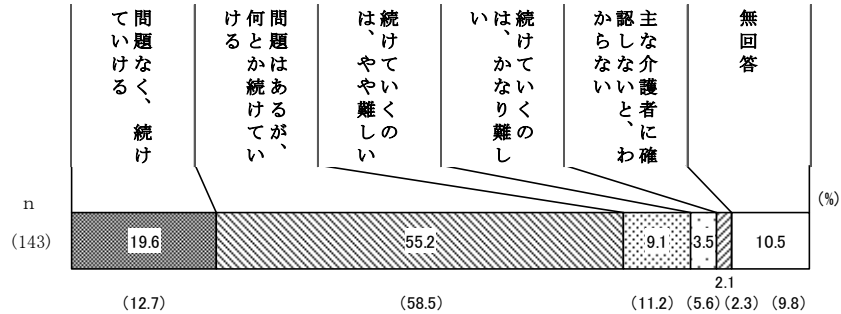
性別で見ると、男性は女性に比べて「特になし」が、女性は男性に比べて「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が多い。

要介護度別で見ると、要支援1・2は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」、「介護に関する相談窓口・担当者の設置」が、要介護3～5は「制度を利用しやすい職場づくり」が他の要介護度に比べて多い。

(4) 働きながらの介護継続について

問4 主な介護者様は、今後も働きながら介護を続けることができますか

【図表38 働きながらの介護継続について】



働きながらの介護継続については、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.2%と最も多く、「問題なく、続けていける」(19.6%)を合わせた『続けていける』人は74.8%となっている。

一方、「続けていくのは、やや難しい」(9.1%)と「続けていくのは、かなり難しい」(3.5%)を合わせた続けるのが『難しい』人は12.6%となっている。

前回調査より、「問題なく、続けていける」が多くなっている。

【図表39 働きながらの介護継続について/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	問題なく、 続けていける	問題はあ るが、何 とかが続 けていけ る	やっとな り続けて いくのは 難しい	な り難 く、つ いてい くのは か た い	主 な介 護者 に確 認し ない	無 回 答
		上段：件数 下段：%						
全 体		143 100.0	28 19.6	79 55.2	13 9.1	5 3.5	3 2.1	15 10.5
性別	男性	31 100.0	5 16.1	15 48.4	4 12.9	1 3.2	1 3.2	5 16.1
	女性	111 100.0	23 20.7	63 56.8	9 8.1	4 3.6	2 1.8	10 9.0
(要 介 護 度 別)	要支援1・2	26 100.0	5 19.2	16 61.5	2 7.7	1 3.8	1 3.8	1 3.8
	要介護1・2	77 100.0	12 15.6	43 55.8	6 7.8	3 3.9	2 2.6	11 14.3
	要介護3～5	39 100.0	11 28.2	19 48.7	5 12.8	1 2.6	0 0.0	3 7.7
圏 域 別	古川中央地区	21 100.0	6 28.6	10 47.6	3 14.3	2 9.5	0 0.0	0 0.0
	古川東部地区	20 100.0	6 30.0	9 45.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0	2 10.0
	古川西部地区	11 100.0	0 0.0	6 54.5	0 0.0	1 9.1	1 9.1	3 27.3
	古川北部地区	12 100.0	3 25.0	6 50.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	2 16.7
	古川南部地区	9 100.0	2 22.2	5 55.6	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	松山地区	6 100.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	三本木地区	10 100.0	1 10.0	7 70.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	鹿島台地区	13 100.0	1 7.7	7 53.8	0 0.0	2 15.4	1 7.7	2 15.4
	岩出山地区	17 100.0	4 23.5	8 47.1	3 17.6	0 0.0	0 0.0	2 11.8
	鳴子温泉地区	10 100.0	2 20.0	8 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	田尻地区	13 100.0	1 7.7	9 69.2	1 7.7	0 0.0	0 0.0	2 15.4

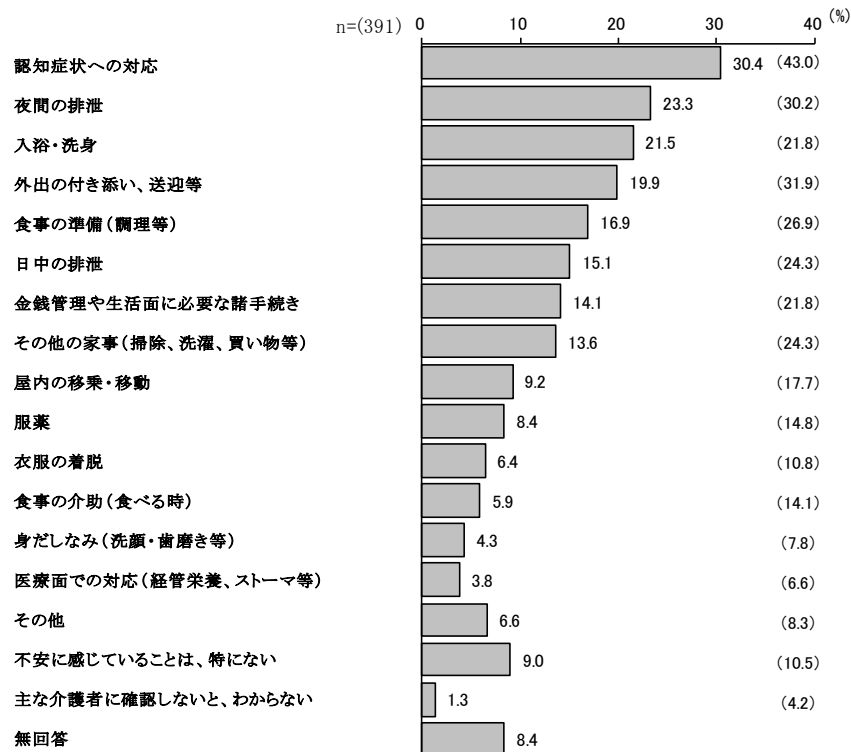
性別で見ると、女性は男性に比べて「問題はああるが、何とか続けていける」が多い。

要介護度別で見ると、要支援1・2は「問題はああるが、何とか続けていける」が、要介護3～5は「問題なく、続けていける」が他の要介護度に比べて多い。

(5) 介護者が不安に感じる介護等

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者様が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで）

【図表40 介護者が不安に感じる介護等】



介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が30.4%と最も多く、以下、「夜間の排泄」(23.3%)、「入浴・洗身」(21.5%)、「外出の付き添い、送迎等」(19.9%)、「食事の準備（調理等）」(16.9%)、「日中の排泄」(15.1%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(14.1%)、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(13.6%)などとなっている。

前回調査より、全体的に少なくなっているが、「入浴・洗身」は変化が小さく、順位をあげている。

【図表41 介護者が不安に感じる介護等/性別、要介護度別、圏域別】

		調査数	認知症状への対応	夜間の排泄	入浴・洗身	外出の付き添い、送迎等	食事の準備(調理等)	日中の排泄	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、)	屋内の移乗・移動	服薬	衣服の着脱	食事の介助(食べる時)	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	栄養、ストーマ等	医療面での対応(経管)	その他	不安に感じていることは、特にな	いと、わからない	主な介護者に確認しな	無回答	
		上段：件数 下段：%																						
全体		391 100.0	119 30.4	91 23.3	84 21.5	78 19.9	66 16.9	59 15.1	55 14.1	53 13.6	36 9.2	33 8.4	25 6.4	23 5.9	17 4.3	15 3.8	26 6.6	35 9.0	5 1.3	33 8.4				
性別	男性	112 100.0	34 30.4	31 27.7	24 21.4	24 21.4	17 15.2	15 13.4	15 13.4	12 10.7	10 8.9	11 9.8	7 6.3	6 5.4	6 5.4	5 4.5	10 8.9	12 10.7	2 1.8	6 5.4				
	女性	269 100.0	83 30.9	57 21.2	57 21.2	50 18.6	48 17.8	43 16.0	38 14.1	41 15.2	25 9.3	21 7.8	17 6.3	16 5.9	11 4.1	10 3.7	15 5.6	23 8.6	3 1.1	26 9.7				
要介護度別 (3区分)	要支援1・2	73 100.0	13 17.8	8 11.0	15 20.5	20 27.4	14 19.2	3 4.1	6 8.2	21 28.8	6 8.2	4 5.5	0 0.0	2 2.7	3 4.1	3 4.1	5 6.8	9 12.3	1 1.4	11 15.1				
	要介護1・2	191 100.0	70 36.6	46 24.1	47 24.6	34 17.8	29 15.2	32 16.8	27 14.1	23 12.0	14 7.3	18 9.4	13 6.8	13 6.8	10 5.2	6 3.1	12 6.3	15 7.9	4 2.1	16 8.4				
	要介護3～5	117 100.0	34 29.1	34 29.1	19 16.2	20 17.1	22 18.8	23 19.7	20 17.1	9 7.7	15 12.8	10 8.5	11 9.4	7 6.0	4 3.4	6 5.1	8 6.8	11 9.4	0 0.0	5 4.3				
圏域別	古川中央地区	59 100.0	17 28.8	16 27.1	11 18.6	17 28.8	12 20.3	9 15.3	10 16.9	9 15.3	4 6.8	3 5.1	3 10.2	6 1.7	1 1.7	4 6.8	1 1.7	4 6.8	1 6.8	4 6.8	0 0.0	5 8.5		
	古川東部地区	47 100.0	16 34.0	4 8.5	10 21.3	13 27.7	6 12.8	6 12.8	7 14.9	8 17.0	5 10.6	6 12.8	1 2.1	2 4.3	3 6.4	1 2.1	5 10.6	3 6.4	1 2.1	5 10.6	1 2.1	5 10.6		
	古川西部地区	32 100.0	8 25.0	13 40.6	9 28.1	3 9.4	6 18.8	8 25.0	4 12.5	3 9.4	3 9.4	3 9.4	3 9.4	0 0.0	1 3.1	3 9.4	3 9.4	3 9.4	2 6.3	0 0.0	4 12.5			
	古川北部地区	32 100.0	12 37.5	7 21.9	7 21.9	7 21.9	7 21.9	6 18.8	3 9.4	4 12.5	6 18.8	4 12.5	2 6.3	5 15.6	3 9.4	0 0.0	1 3.1	3 9.4	0 0.0	3 9.4	0 0.0	3 9.4		
	古川南部地区	31 100.0	7 22.6	4 12.9	11 35.5	4 12.9	4 12.9	7 22.6	2 6.5	6 19.4	7 22.6	3 9.7	4 12.9	3 9.7	2 6.5	2 9.7	3 9.7	2 6.5	3 9.7	2 6.5	5 16.1	0 0.0	0 0.0	
	松山地区	19 100.0	6 31.6	3 15.8	1 5.3	1 5.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.8	2 10.5	1 5.3	0 0.0	0 0.0	1 5.3	0 0.0	1 5.3	1 5.3	4 21.1	0 0.0	4 21.1		
	三本木地区	26 100.0	10 38.5	5 19.2	10 38.5	4 15.4	2 7.7	3 11.5	3 11.5	3 11.5	5 19.2	1 3.8	4 15.4	2 7.7	0 0.0	1 3.8	3 11.5	2 7.7	3 11.5	2 7.7	0 0.0	2 7.7		
	鹿島台地区	36 100.0	11 30.6	10 27.8	7 19.4	7 19.4	5 13.9	8 22.2	6 16.7	6 16.7	5 13.9	4 11.1	3 8.3	0 0.0	1 2.8	2 5.6	0 0.0	3 8.3	5 13.9	0 0.0	3 8.3	2 5.6	5 13.9	
	岩出山地区	41 100.0	11 26.8	15 36.6	9 22.0	5 12.2	8 19.5	9 22.0	5 12.2	4 9.8	3 7.3	3 7.3	2 4.9	3 7.3	1 2.4	1 2.4	1 2.4	0 0.0	3 7.3	2 4.9	5 12.2	2 4.9	5 12.2	
	鳴子温泉地区	24 100.0	10 41.7	4 16.7	1 4.2	7 29.2	4 16.7	2 8.3	3 12.5	1 4.2	0 0.0	1 4.2	2 8.3	3 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3	2 8.3	1 4.2	2 8.3	1 4.2	2 8.3	
	田尻地区	34 100.0	9 26.5	7 20.6	5 14.7	6 17.6	6 17.6	6 17.6	6 17.6	6 17.6	2 5.9	3 8.8	3 8.8	1 2.9	1 2.9	3 8.8	2 5.9	4 11.8	2 5.9	2 5.9	1 2.9	2 5.9		

要介護度別でみると、要支援1・2は「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が、要介護1・2は「認知症状への対応」が、要介護3～5は「夜間の排泄」、「日中の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が他の要介護度に比べて多い。

圏域別でみると、古川中央地区、古川東部地区、鳴子温泉地区は「外出の付き添い、送迎等」が、古川西部地区、岩出山地区は「夜間の排泄」が、古川北部地区、三本木地区、鳴子温泉地区は「認知症状への対応」が古川南部地区、三本木地区は「入浴・洗身」が他の圏域に比べて多い。

資料編

資料編

1. 在宅介護実態調査 調査票

大崎市 在宅介護実態調査
報告書

作成 令和3年1月
発行 大崎市 民生部 高齢介護課
〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号
TEL : 0229-23-6085

資料編

「宛名のご本人様」がお答えください

・1～4ページは「ご本人様（調査対象者様）」がご記入ください

調査票を記入されたのはどなたですか

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となつている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. その他（介護事業者ほか）

1 ご本人様（調査対象者様）について、おうかがいします

問1 家族構成をお教えください

- 1. 1人暮らし
- 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
- 3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
- 4. 息子・娘との2世帯
- 5. その他（上記以外）

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

- 1. ない → 問8（3ページ）へ
- 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
- 3. 週に1～2日ある
- 4. 週に3～4日ある
- 5. ほぼ毎日ある → 問3～問7へ

※ 問2で「2」～「5」と答えた「介護あり」の方のみ、ご回答ください。

問3 主な介護者様は、どなたですか

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 子の配偶者
- 4. 孫
- 5. 兄弟や姉妹
- 6. その他（上記以外）

※ 問2で「2」～「5」と答えた「介護あり」の方のみ、ご回答ください。

問4 主な介護者様の性別について、ご回答ください

- 1. 男性
- 2. 女性

※ 問2で「2」～「5」と答えた「介護あり」の方のみ、ご回答ください。

問5 主な介護者様の年齢について、ご回答ください

- 1. 20歳未満
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代
- 8. 80歳以上
- 9. わからない

※ 問2で「2」～「5」と答えた「介護あり」の方のみ、ご回答ください。

問6 現在、主な介護者様が行っている介護等について、ご回答ください
（いくつでも）

- 1. 日中の排泄
- 2. 夜間の排泄
- 3. 食事の介助（食べる時）
- 4. 入浴・洗身
- 5. 身だしなみ（洗頭・歯磨き等）
- 6. 衣服の着脱
- 7. 屋内の移動・移動
- 8. 外出の付き添い、送迎等
- 9. 服薬
- 10. 認知症状への対応
- 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
- 12. 食事の準備（調理等）
- 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
- 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 15. その他（上記以外）
- 16. わからない

※ 問2で「2」～「5」と答えた「介護あり」の方のみ、ご回答ください。

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人様（調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか
（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

- 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
 - 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
 - 3. 主な介護者が転職した
 - 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
 - 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
 - 6. わからない
- ※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含まず。

※ 応たたび【すべての方】が ご回答ください。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------|-------------|-----------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物
(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行
(通院、買い物等) |
| 7. 移送サービス
(介護・福祉がら-等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な
通いの場 |
| 10. その他（上記以外） | 11. 利用していない | |
- ※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

- | | | |
|--------------------------|------------|-----------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物
(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行
(通院、買い物等) |
| 7. 移送サービス
(介護・福祉がら-等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な
通いの場 |
| 10. その他（上記以外） | 11. 特になし | |

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |
- ※ 「施設等」とは、特別介護老人ホーム（地域密着型含む）、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウス等）、グループホーム、地域密着型特定施設を指します。

問11 ご本人様（調査対象者様）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. 脳血管疾患（脳卒中） | 2. 心疾患（心臓病） |
| 3. 悪性新生物（がん） | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患（透析） | 6. 筋骨格系疾患
(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病（関節リウマチ含む） | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病（パーキンソン病を除く） | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患
(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他（高血圧症や高脂血症等） |
| 15. なし | 16. わからない |

問12 ご本人様（調査対象者様）は、現在、訪問診療を利用していますか

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|
- ※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 利用している | |
| 2. 利用していない | → 問14へ |

※ 問13で「2. 利用していない」と答えた方のみ、ご回答ください。

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 現状では、サービスを
利用するほどの状態ではない | 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない | 4. 以前、利用していたサービスに
不備があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい | 6. 利用したいサービスが利用できない、
身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・
購入のみを利用するため | 8. サービスを等けたいが手続や
利用方法が分からない |
| 9. その他（上記以外） | |

ここからは「主な介護者様」がお答えください

- ・5～6ページは「主な介護者様」がご記入ください
- ・「主な介護者様」が難しい場合は、「ご本人様（調査対象者様）」がご記入願います
(ご本人様のご回答・ご記入も難しい場合は、無回答で結構です)

2 主な介護者様について、おうちがいます

問1 主な介護者様の現在の勤務形態について、ご回答ください

1. フルタイムで働いている → 問2～問4へ
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない → 問5 (6ページ)へ

※ 「パートタイム」とは、「1」週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就業時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれれかを選択してください。

※ 問1において「1」「2」と答えた“働いている”方のみ、ご回答ください。

問2 主な介護者様は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか (いくつでも)

1. 特に行っていません
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

※ 問1において「1」「2」と答えた“働いている”方のみ、ご回答ください。

問3 主な介護者様は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか (3つまで)

1. 制度を利用しやすい職場づくり
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 自営業・フリーランス等のため、労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)
4. 勤め先ははかない
5. 働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・担当者の設置
8. 介護をしている従業員に経済的支援
9. その他 (上記以外)
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

※ 問1において「1」「2」と答えた“働いている”方のみ、ご回答ください。

問4 主な介護者様は、今後も働きながら介護を続けることができますか

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

※ ふたたび【すべての方】がご回答ください。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者様が不安に感じる介護等について、ご回答ください (現状で行っているか否かは問いません) (3つまで)

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 日中の排泄 3. 食事の介助 (食べる時) 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) 7. 屋内の移乗・移動 9. 服薬 <p>(身体介護)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 2. 夜間の排泄 4. 入浴・洗身 6. 衣服の着脱 8. 外出の付き添い、送迎等 10. 認知症状態への対応 |
| <ol style="list-style-type: none"> 11. 医務面での対応 (経管栄養、ストーマ等) 12. 食事の準備 (調理等) 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き <p>(生活援助)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 15. その他 (上記以外) 16. 不安に感じていることは、特になし 17. 主な介護者に確認しないと、わからない <p>(その他)</p> |

アンケートは以上で終了です。
ご協力ありがとうございました。



同封の返信用封筒に入れて投函してください。

大崎市 在宅介護実態調査
報告書

作成 令和3年1月
発行 大崎市 民生部 高齢介護課
〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号
TEL : 0229-23-6085